憧れだった相楽さん。3

シてくれないかな？私と
…彼氏の前で。
さがら
Akogaredatta
Sagarasan

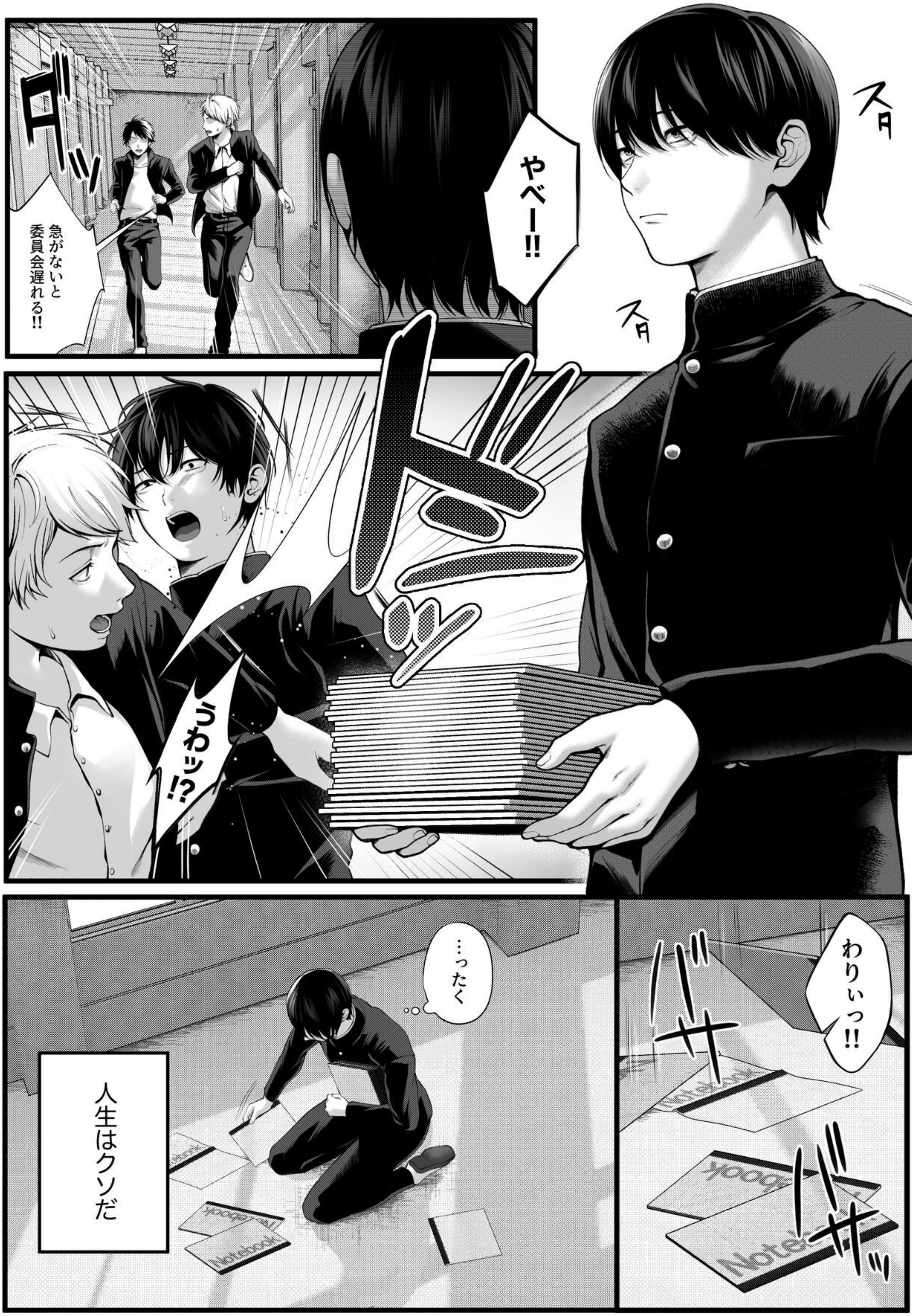
TOKYO GUNJO presents

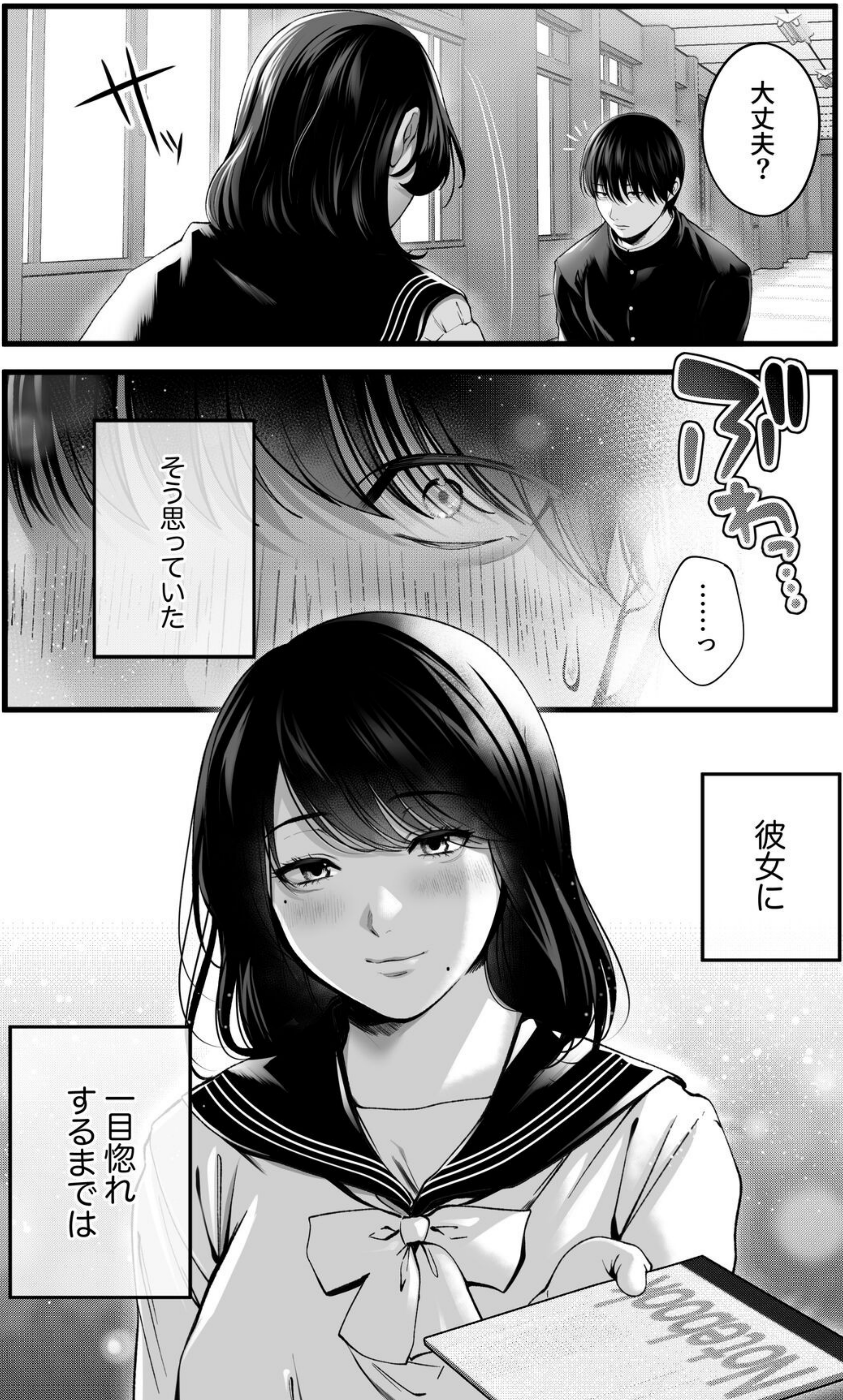
憧れだった、相楽さん。

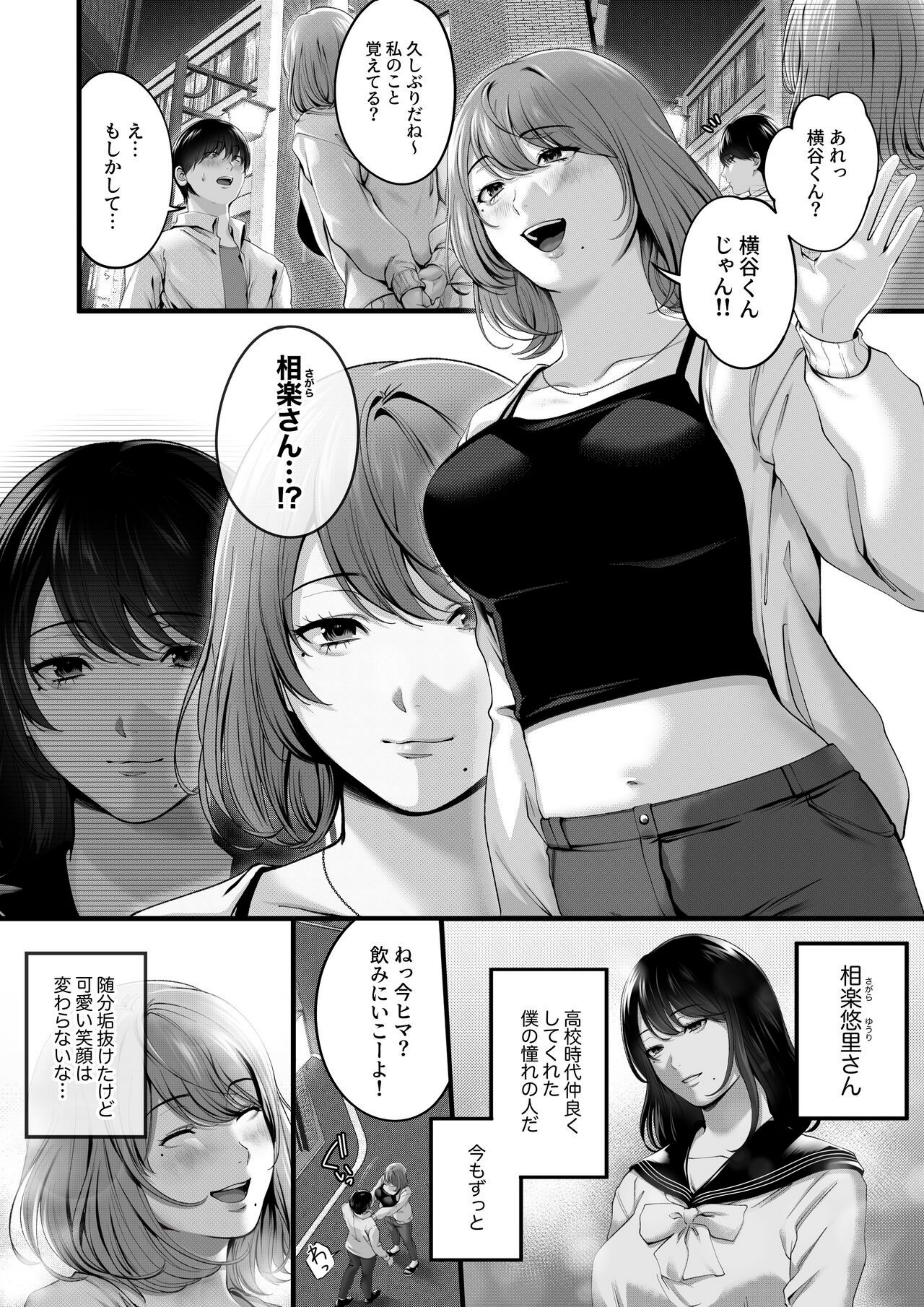
転載
禁止
無断転載・複製・複写・
Web上へのアップロード禁止

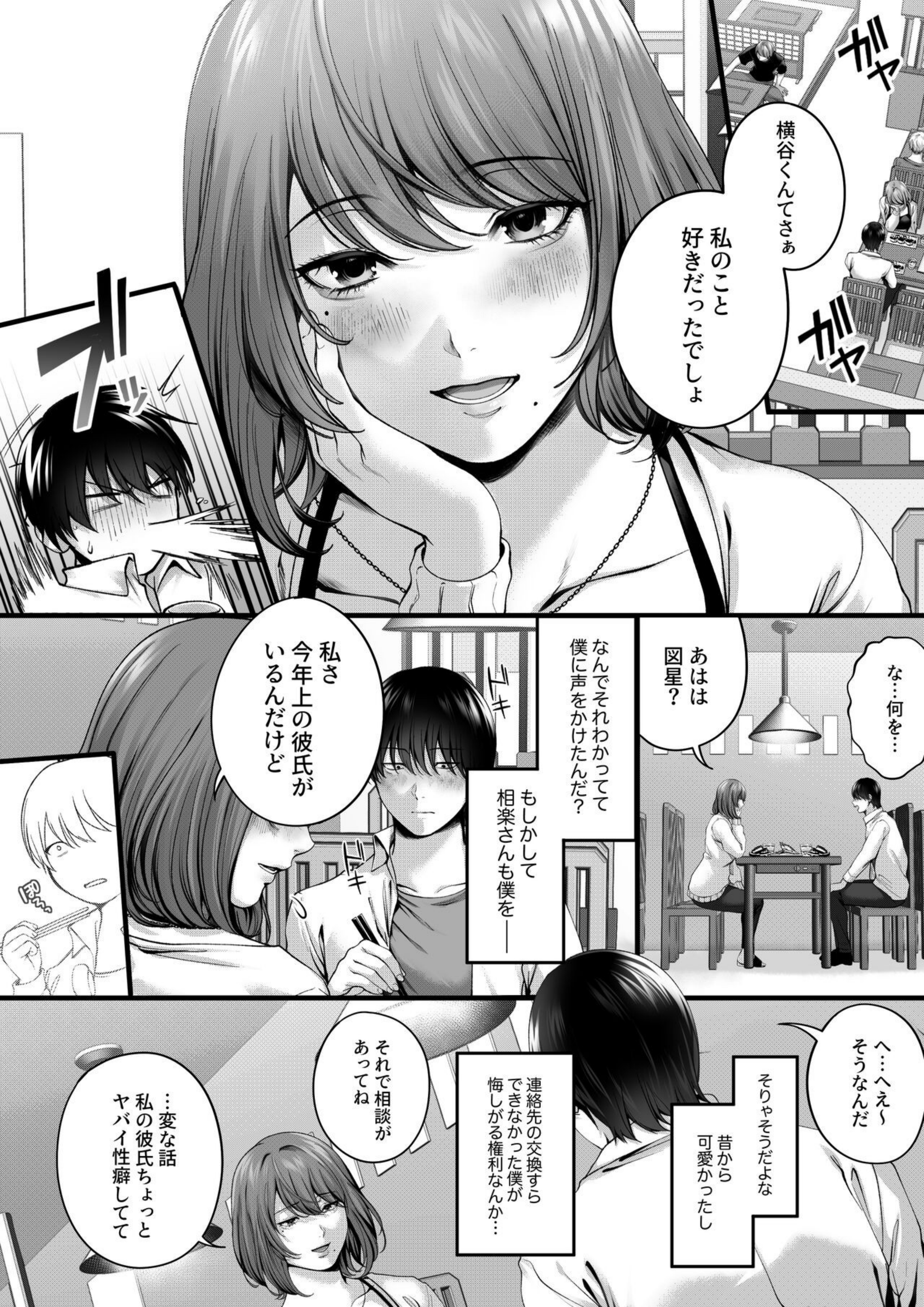
無許可の転載、複製、転用等は法律により罰せられます。
Unauthorized duplication os a violation of applicable laws.
未经许可不得转载使用，违者必究.

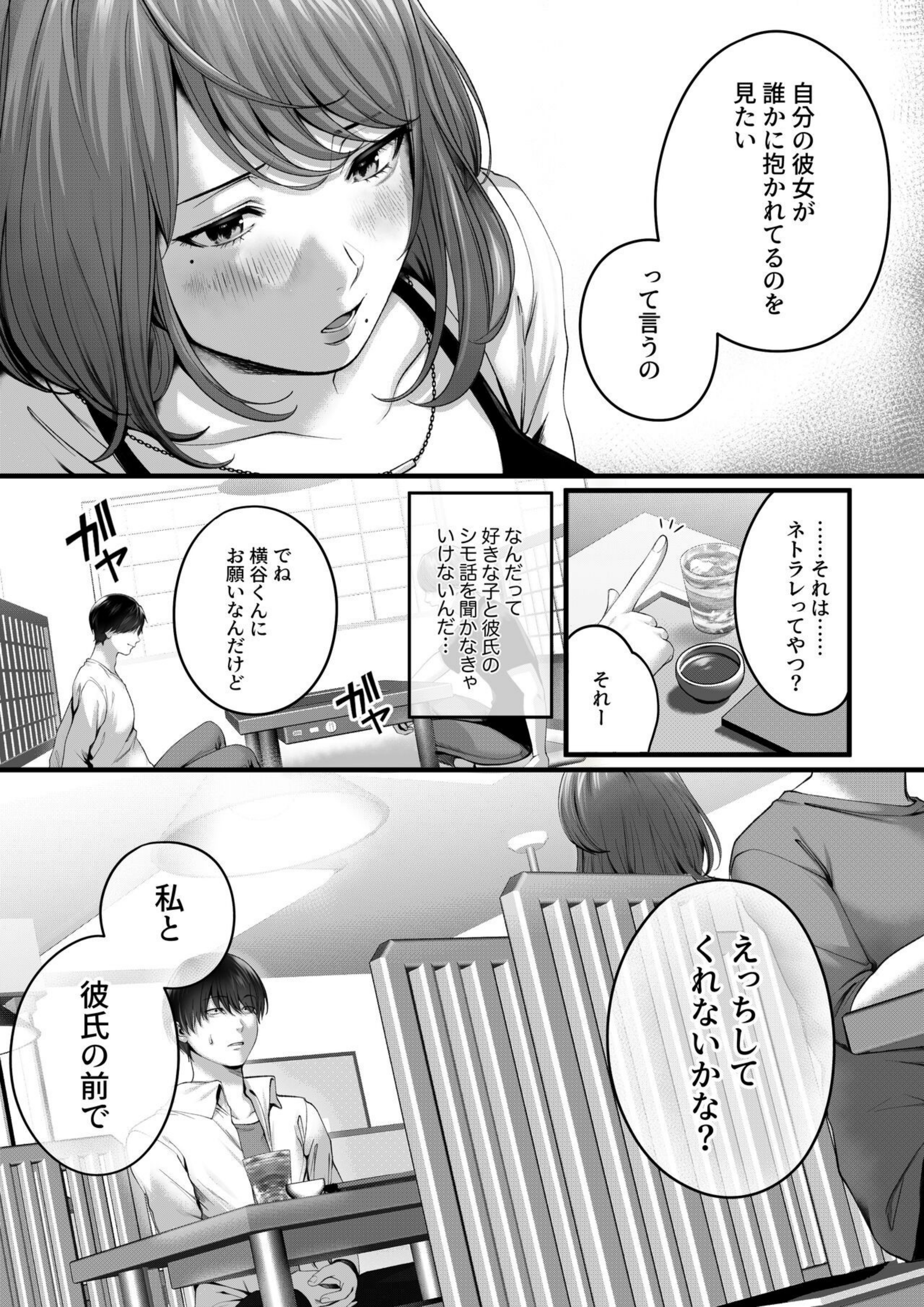
※この物語はフィクションであり、実在する人物、団体等とは一切関係ありません

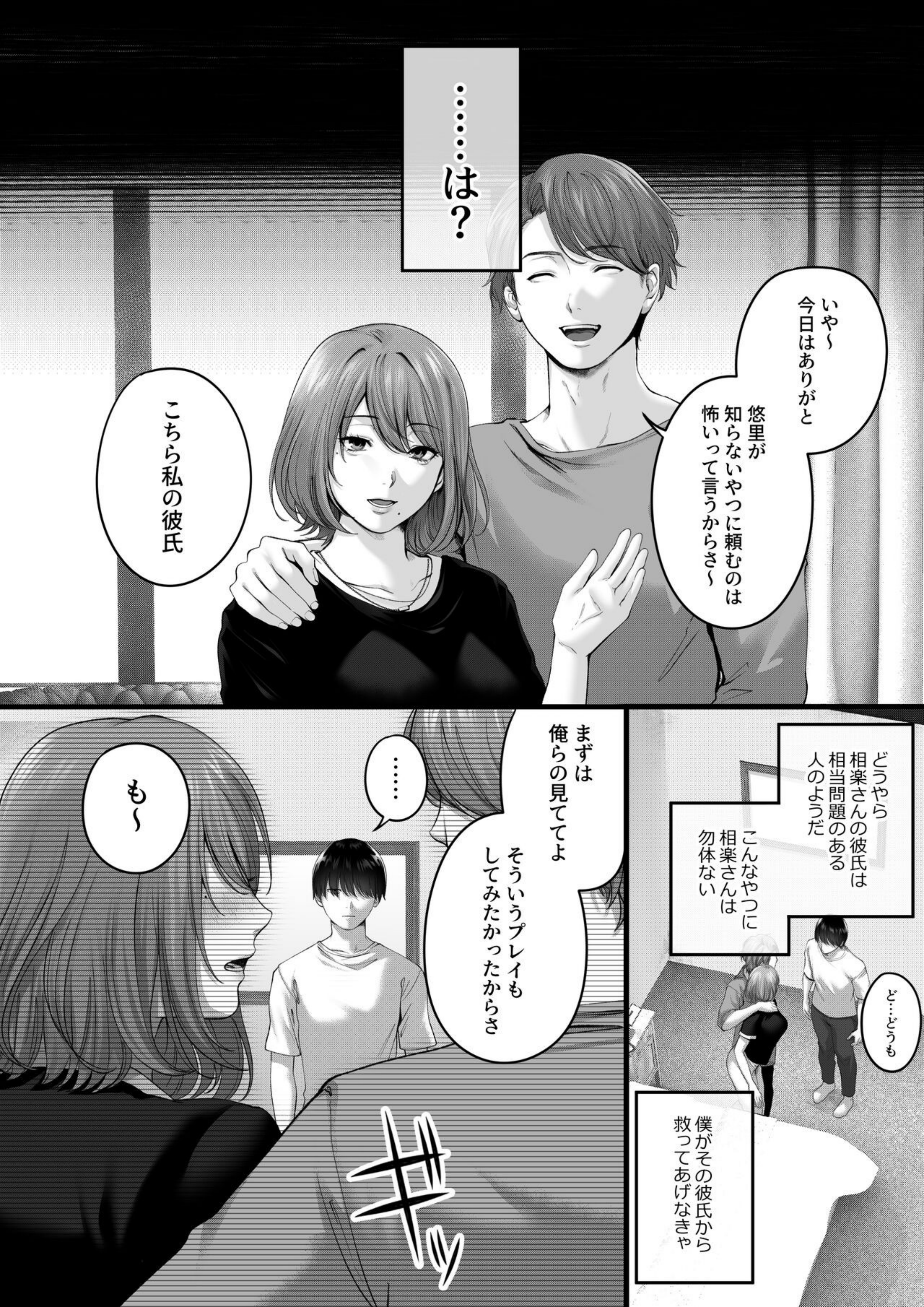

スタ
スタ
やべー!!
ダッ
急がないと委員会遅れる!!
ドンッ
うわッ!?
わりぃっ!!
バサ
バサ
Notebook
…ったく
人生はクソだ
Notebook

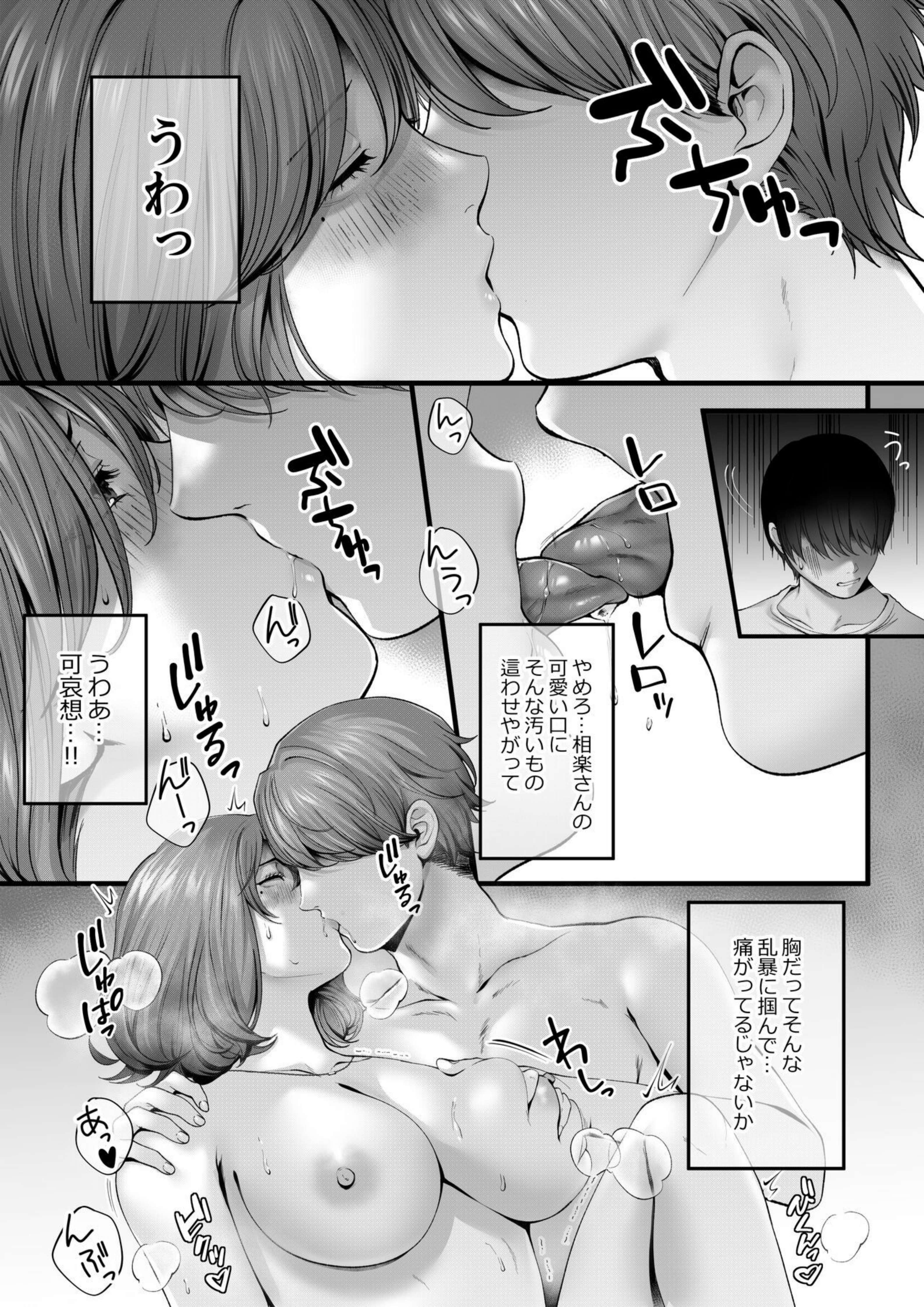

大丈夫？
ザッ
ぶわっ…
……っ
そう思っていた
彼女に
一目惚れするまでは

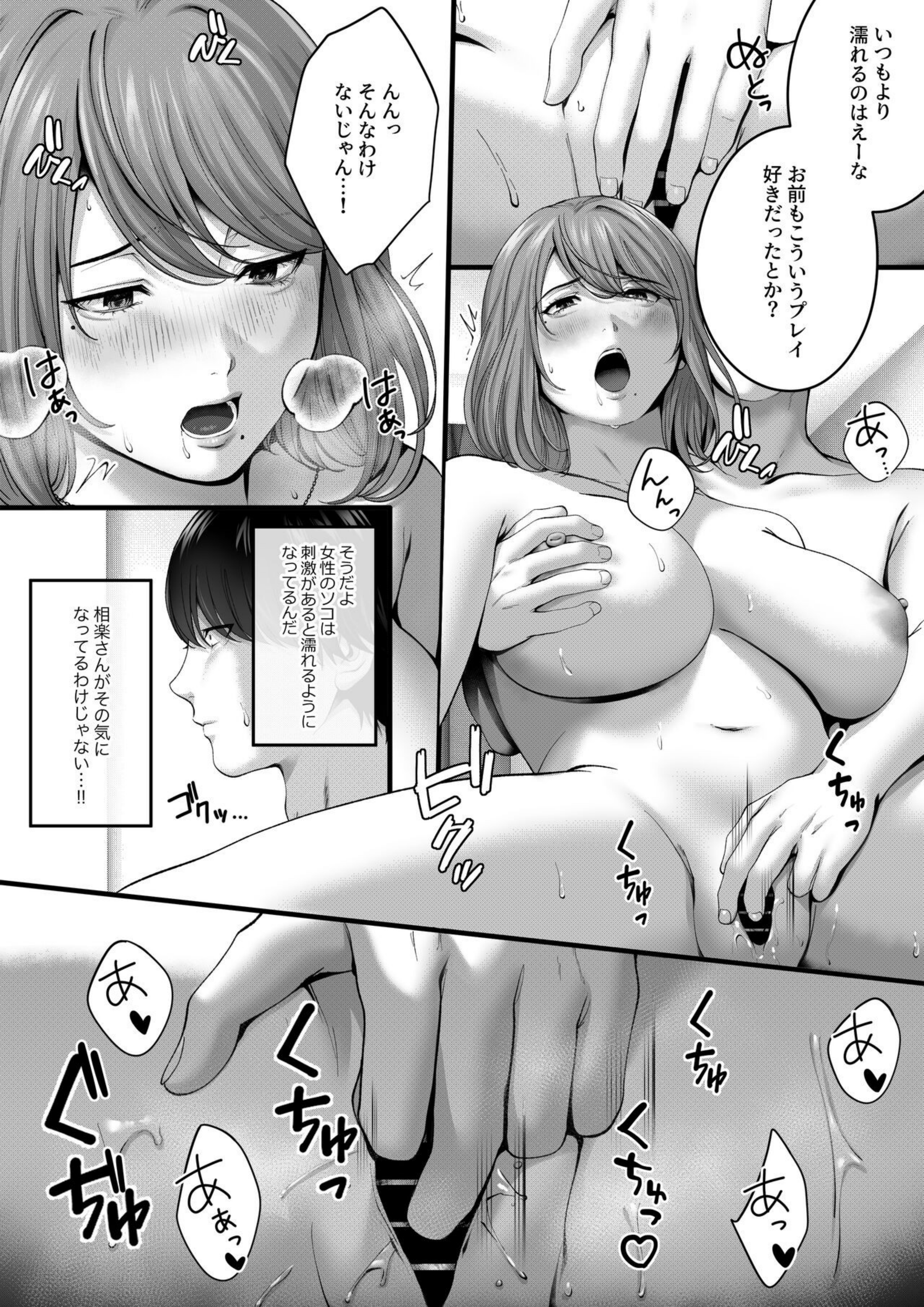

あれっ 横谷くん？
横谷くん じゃん!!
久しぶりだね～ 私のこと 覚えてる？
え… もしかして…
相楽(さがら)さん…!?
相楽(さがら)悠里(ゆうり)さん
高校時代仲良く してくれた 僕の憧れの人だ
今もずっと
ねっ今ヒマ？ 飲みにいこーよ！
ぐいっ
わっ
随分垢抜けたけど 可愛い笑顔は 変わらないな…

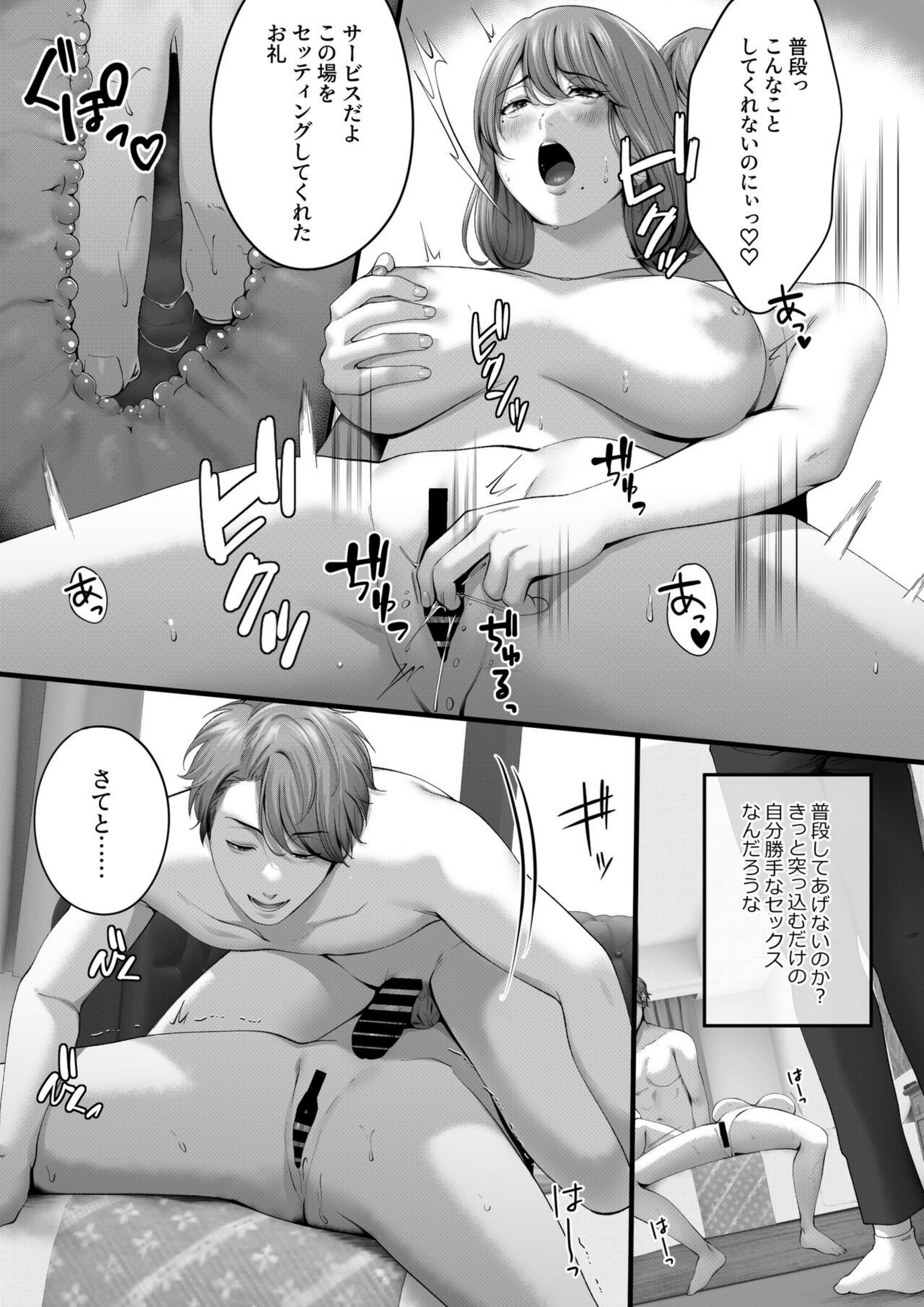

ガヤ
ガヤ
横谷くんてさぁ 私のこと 好きだったでしょ
ブッ
な…何を……
あはは 図星？
なんでそれわかってて 僕に声をかけたんだ？
もしかして 相楽さんも僕を――
ドキ
ドキ
私さ 今年上の彼氏が いるんだけど
ぽ…
へ…へえ～ そうなんだ
そりゃそうだよな 昔から 可愛かったし
連絡先の交換すら できなかった僕が 悔しがる権利なんか…
それで相談が あってね
…変な話 私の彼氏ちょっと ヤバイ性癖してて

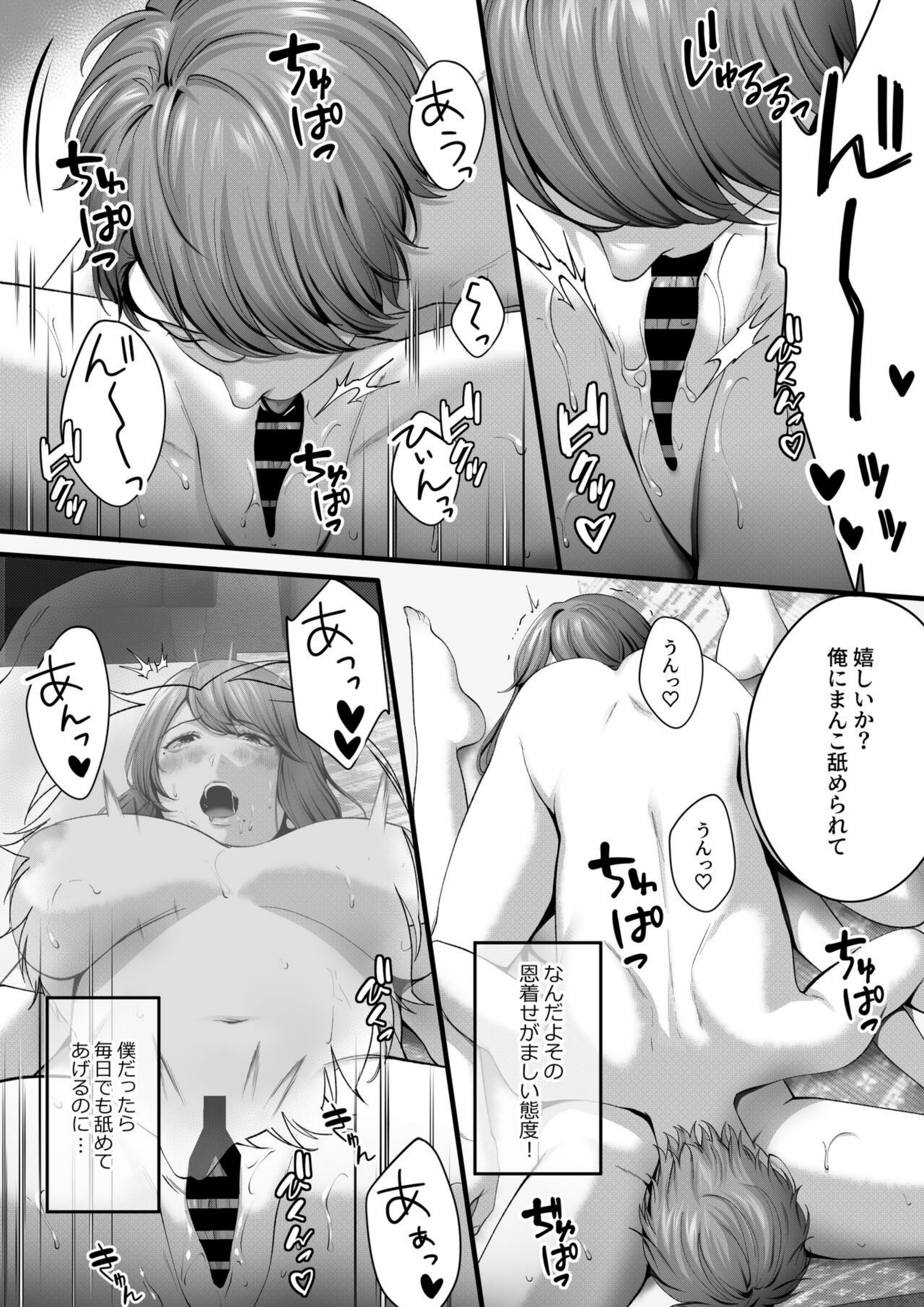

自分の彼女が誰かに抱かれてるのを見たい
って言うの
……それは……ネトラレってやつ？
それー
なんだって好きな子と彼氏のシモ話を聞かなきゃいけないんだ…
でね横谷くんにお願いなんだけど
ガヤ
ガヤ
えっちしてくれないかな？
私と彼氏の前で

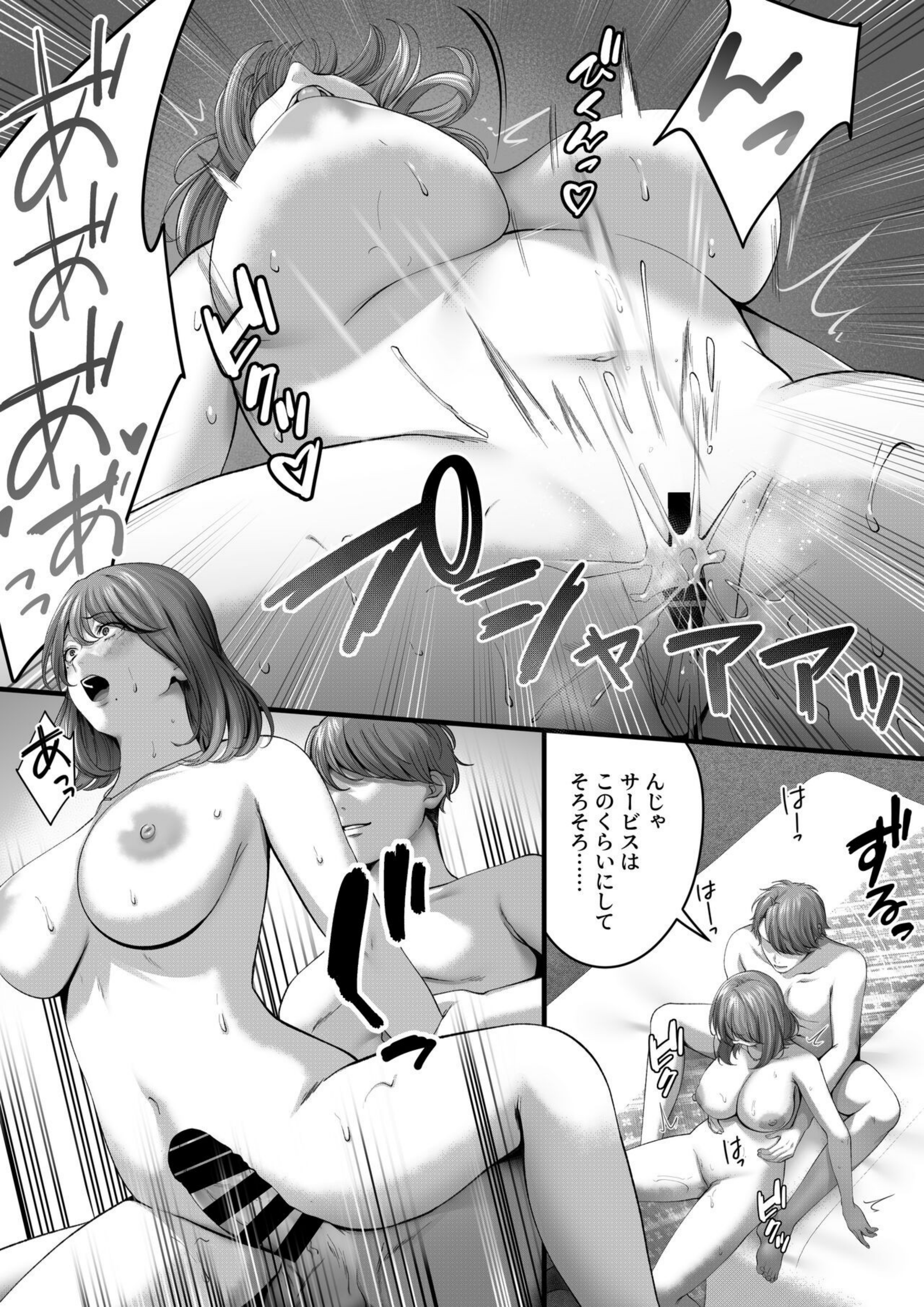

……は？
いや～ 今日はありがと 悠里が 知らないやつに頼むのは 怖いって言うからさ～
こちら私の彼氏
どうやら 相楽さんの彼氏は 相当問題のある 人のようだ
こんなやつに 相楽さんは 勿体ない
ど…どうも
僕がその彼氏から 救ってあげなきゃ
まずは 俺らの見ててよ
そういうプレイも してみたかったからさ
……
も～
ギュッ

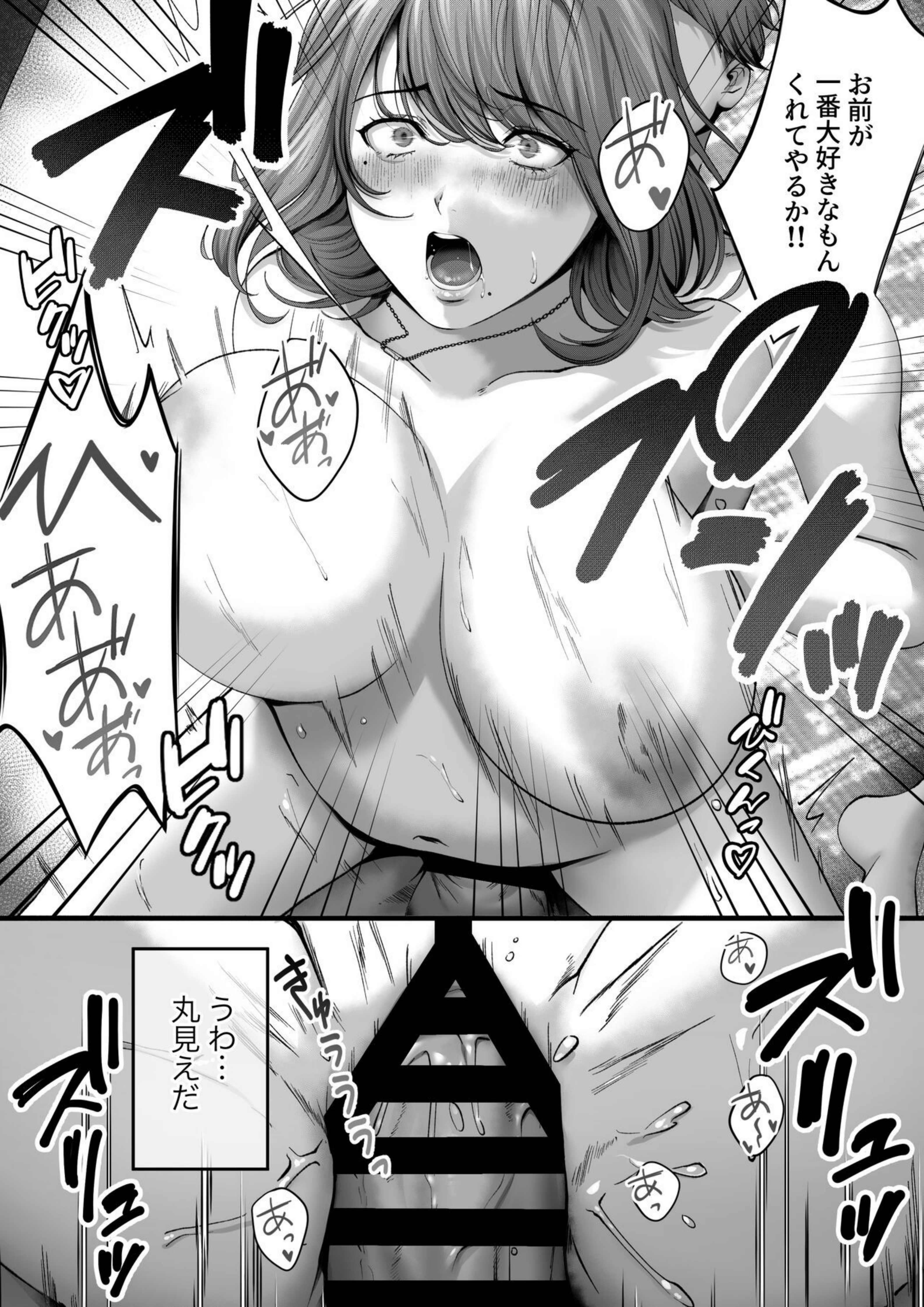

ぶちゅっ
うわっ
うっ
レロ
レロッ
んっ
やめろ…相楽さんの可愛い口にそんな汚いもの這わせやがって
ぶちゅっ
んうっ
んっ
じゅるっ
んーっ
うわあ…可哀想…!!
じゅるっ
胸だってそんな乱暴に掴んで…痛がってるじゃないか
わしっ
びくんっ♡
じゅぱっ
あっ♥
ビクッ♡
んぶっ

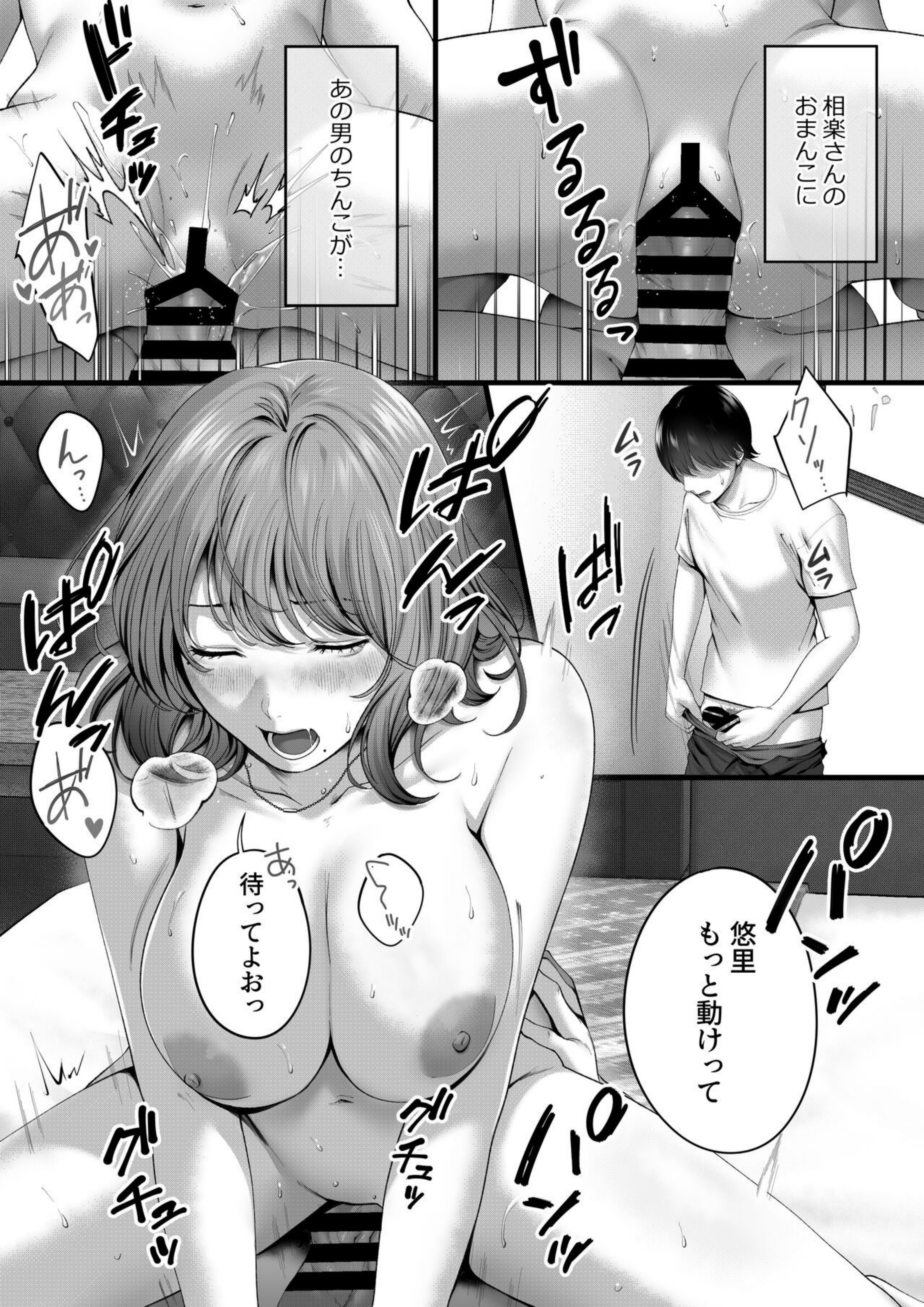

いつもより濡れるのはえーな
お前もこういうプレイ好きだったとか？
ぬとっ
ビクン
あっ…
んんっ
んんっ そんなわけないじゃん…！
ビクン
ビクン
はぁっ
はぁっ
そうだよ 女性のソコは刺激があると濡れるようになってるんだ
相楽さんがその気になってるわけじゃない…!!
ゴクッ…
ビククッ
くちゅっ
くちゅっ
あっ♥
くちゅ
くちゅっ♡
あっ♥
くちゅっ
ぐちゅ
あ♥
あぁっ♥

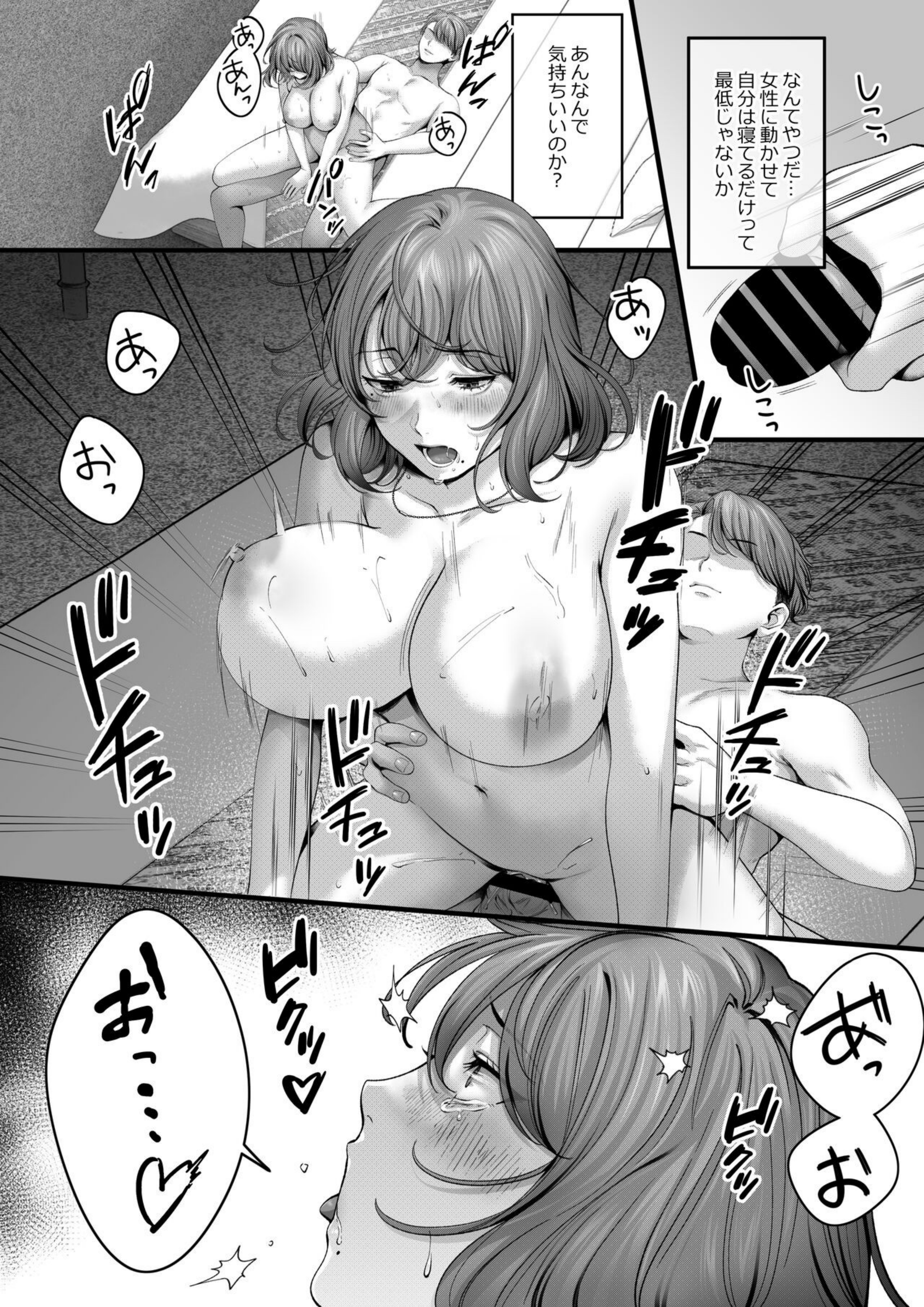

普段っ
こんなこと
してくれないのにぃっ♡♡
ビクッ
あっ♥
サービスだよ
この場を
セッティングしてくれた
お礼
ぐぽっ♡
ビクッ
ビクッ
ぢゅっ
ぢゅっ
ぢゅるっ
あっ♥
あっ
普段してあげないのか？
きっと突っ込むだけの
自分勝手なセックス
なんだろうな
はーっ
はーっ
ギッ
さてと……
はーっ
ぬぷ
ぬぷぷ

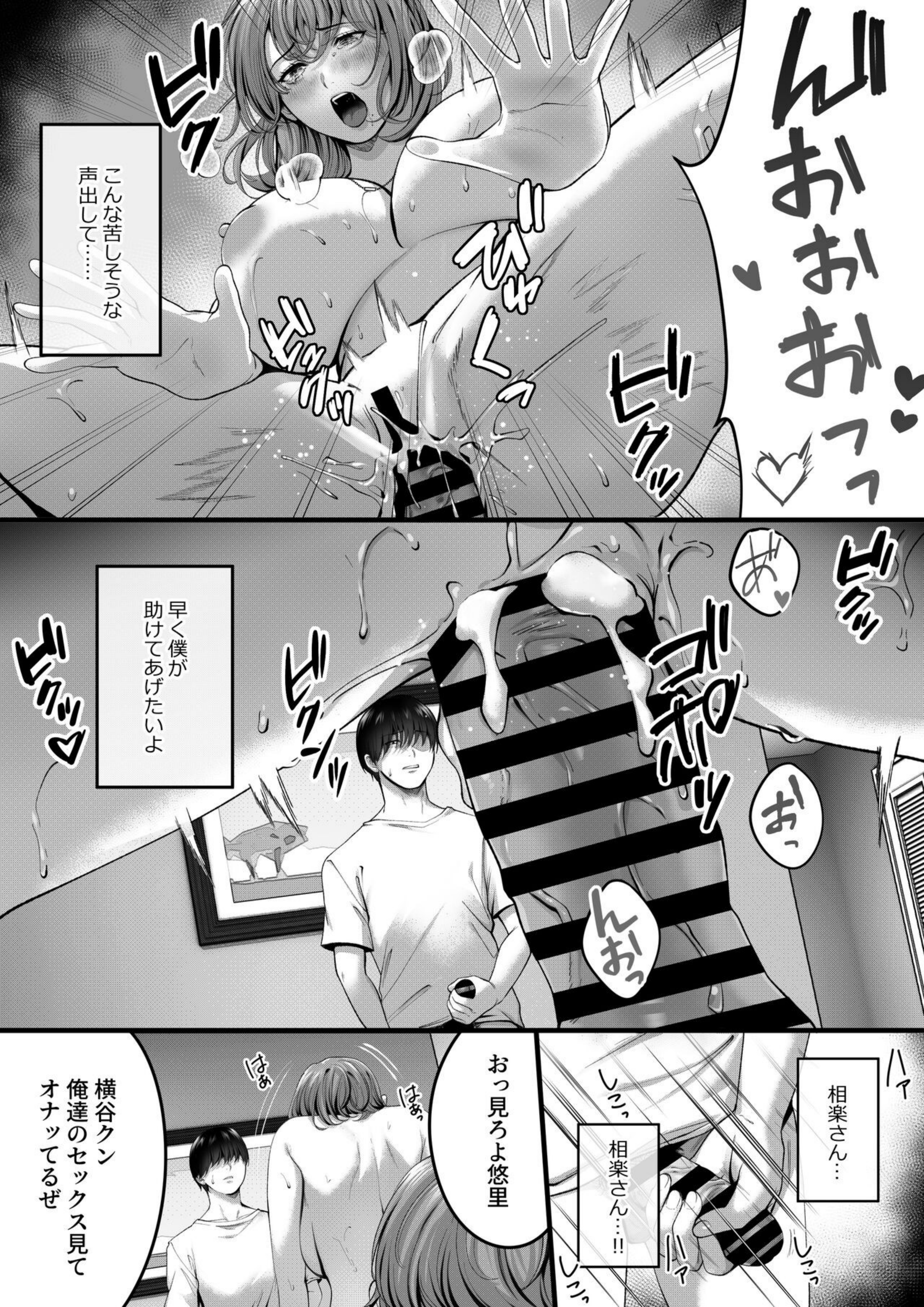

じゅるるっ
んじ〜〜〜ッッッ♥
びくんっ♡
ビクッ♡
あうっ
ちゅぱっ
ちゅぱっ
くっ
ひぃんっ
ビクッ
ちゅぱっ
んぐ〜〜っ
ビクッ
嬉しいか？俺にまんこ舐められて
うんっ♡
うんっ♡
ちゅぱっ
ちゅぱっ
なんだよその恩着せがましい態度！
ぢゅぱっ
あっっ♥
あんっ♥
僕だったら毎日でも舐めてあげるのに…
びくんっ
きゅん
びくんっ♡
あぁっ♥
きゅん

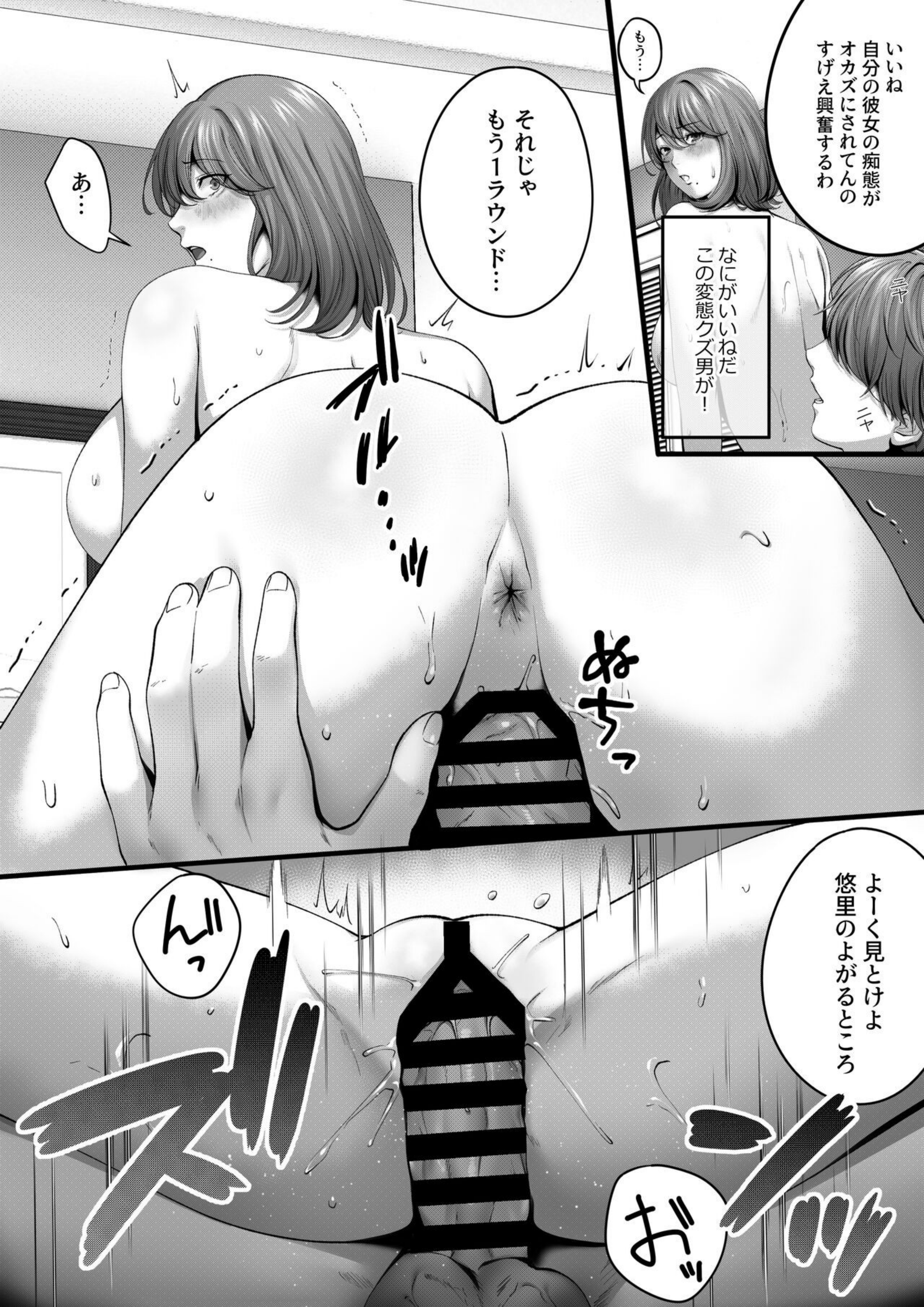

んっ
びくんっ♡
ビクッ♡
お゛お゛お゛♡お゛っっ
プシャアアッ
ずるっ
はーっ
はーっ
んじゃ サービスは このくらいにして そろそろ……
ビク
はっ
ビクッ
ぐっ
あっっ


お前が
一番大好きなもん
くれてやるか!!
あ゛♥
ズ
プンッ
びくんっ♥
あ゛あ゛♥あ゛っ
ビクッ♥
ひへ♥あ゛あ゛♥あ゛っ
ビクッ
ズリュッ
あ♥
あ～
あっ
きゅううううっ
うわ…
丸見えだ
あっ
ズリュッ


相楽さんの
おまんこに
ずるるるっ
あの男のちんこが…
ドチュッ
おぉおっ♡
クソッ…
ムラ
ムラ
ムラ
ぱんっ
ぱっ
んっ…
ぱんっ
あ゛あ♡
あっ
待ってよおっ
〜〜ッ
悠里
もっと動けって
パンッ
パンッ
グチュッ
グチュッ

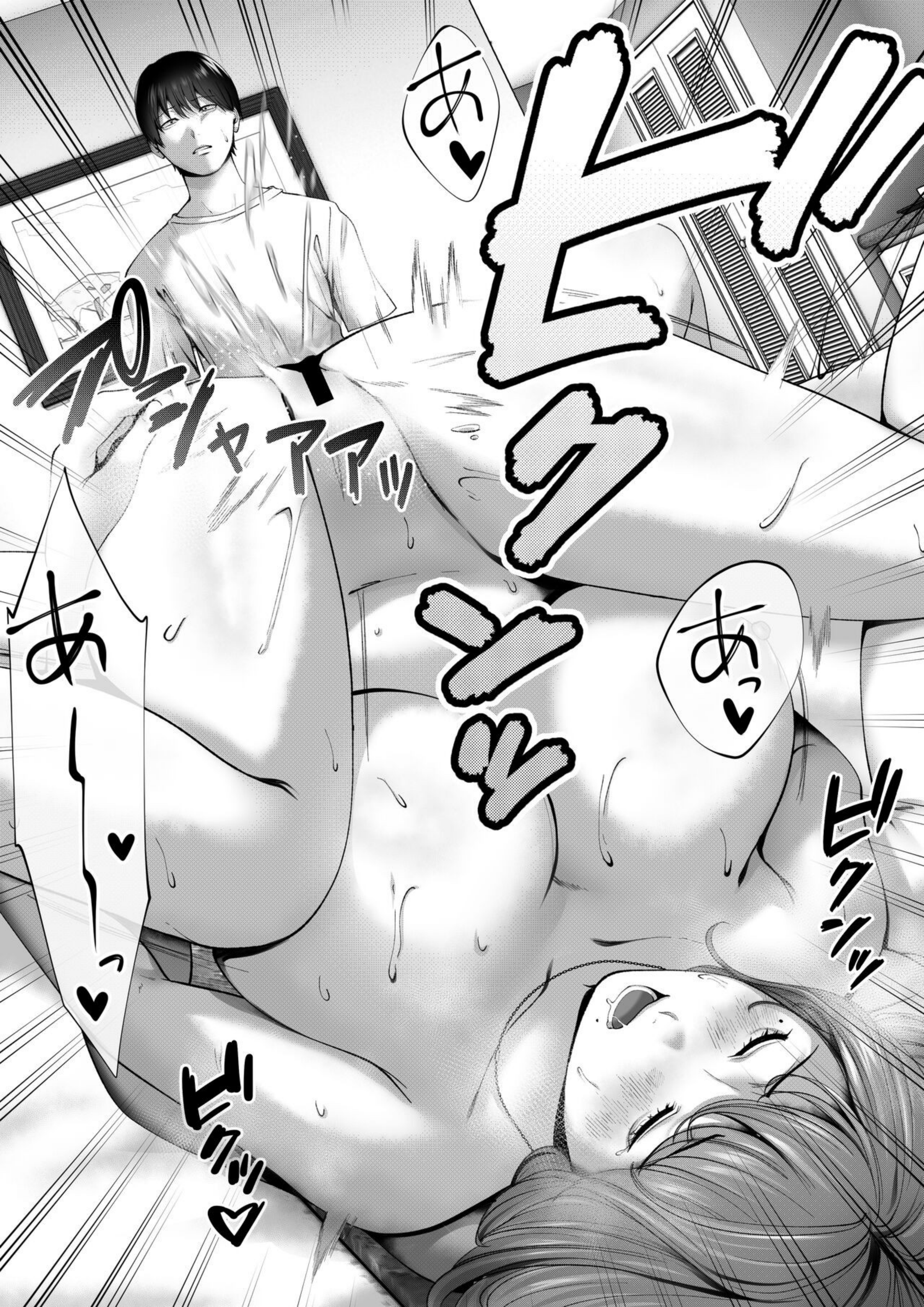

しこっ
なんてやつだ…
女性に動かせて
自分は寝てるだけって
最低じゃないか
しこっ
あんなんで
気持ちいいのか？
ぱんっ
あっ
あっあんっ
ぱんっ
パンッ
あッ
あっ
おっ
ドチュッ
ドチュッ
ドチュッ
ドチュッ
お゛っ お
ビクッ
ビクッ♡
おっ…♡

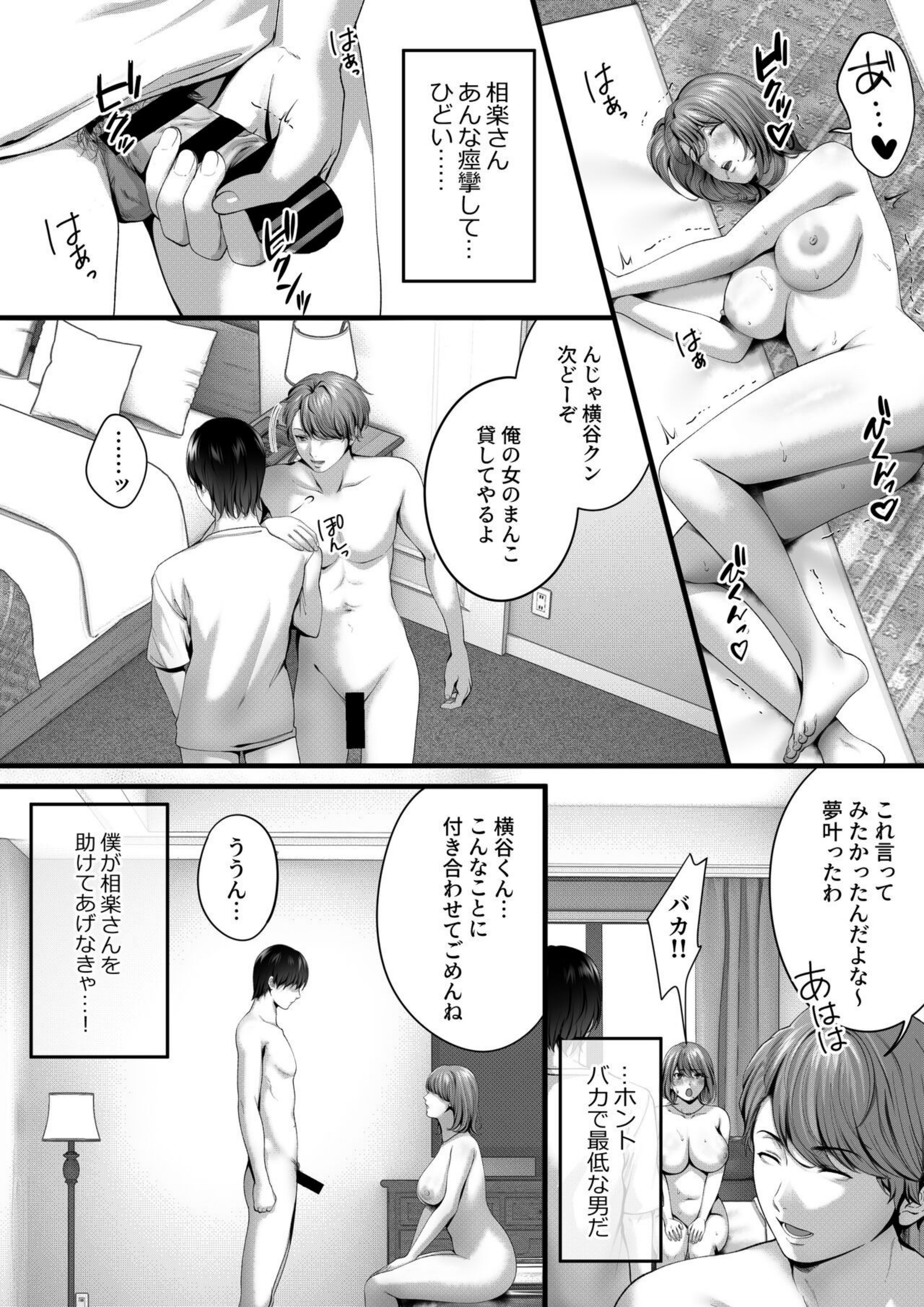

んおおおっっ♥
ビク
ビクッ
びゅくっ
どぷぷっ
こんな苦しそうな声出して……
ビクッ
あ♥
ゴポポッ
おっ
んおっ
ビクンッ
ビクッ♥
早く僕が助けてあげたいよ
ハァ
相楽さん…
相楽さん…!!
しこっ
しこっ
ハァ
しこっ
しこっ
おっ見ろよ悠里
はぁっ
はぁ
横谷クン俺達のセックス見てオナッてるぜ

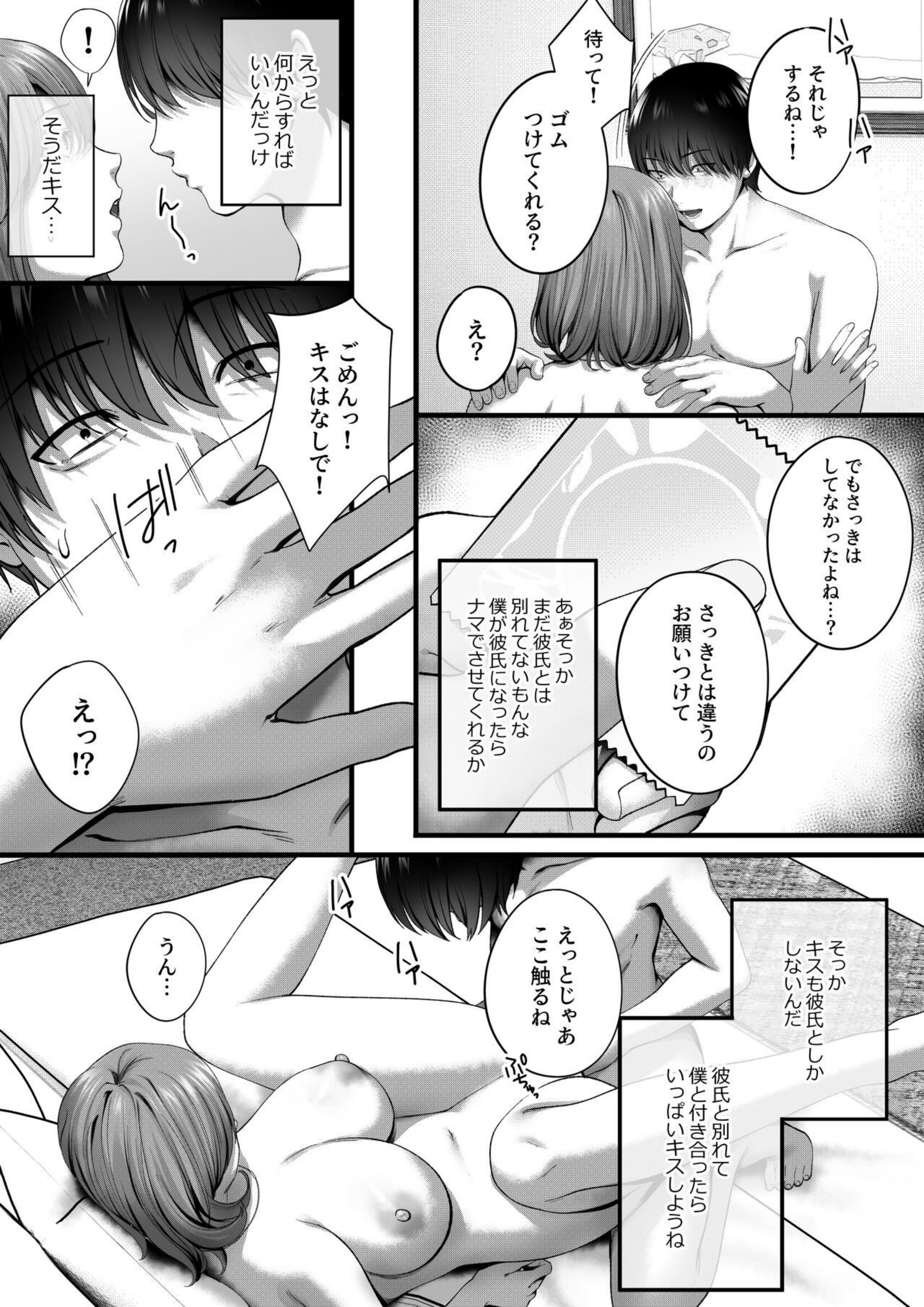

いいね
自分の彼女の痴態が
オカズにされてんの
すげえ興奮するわ
もう…
なにがいいねだ
この変態クズ男が！
ニヤ
ニヤ
それじゃ
もう1ラウンド…
あ…
ズブ………
ぬちっ
よーく見とけよ
悠里のよがるところ
ん゛っ
ズブ
お゛ッ

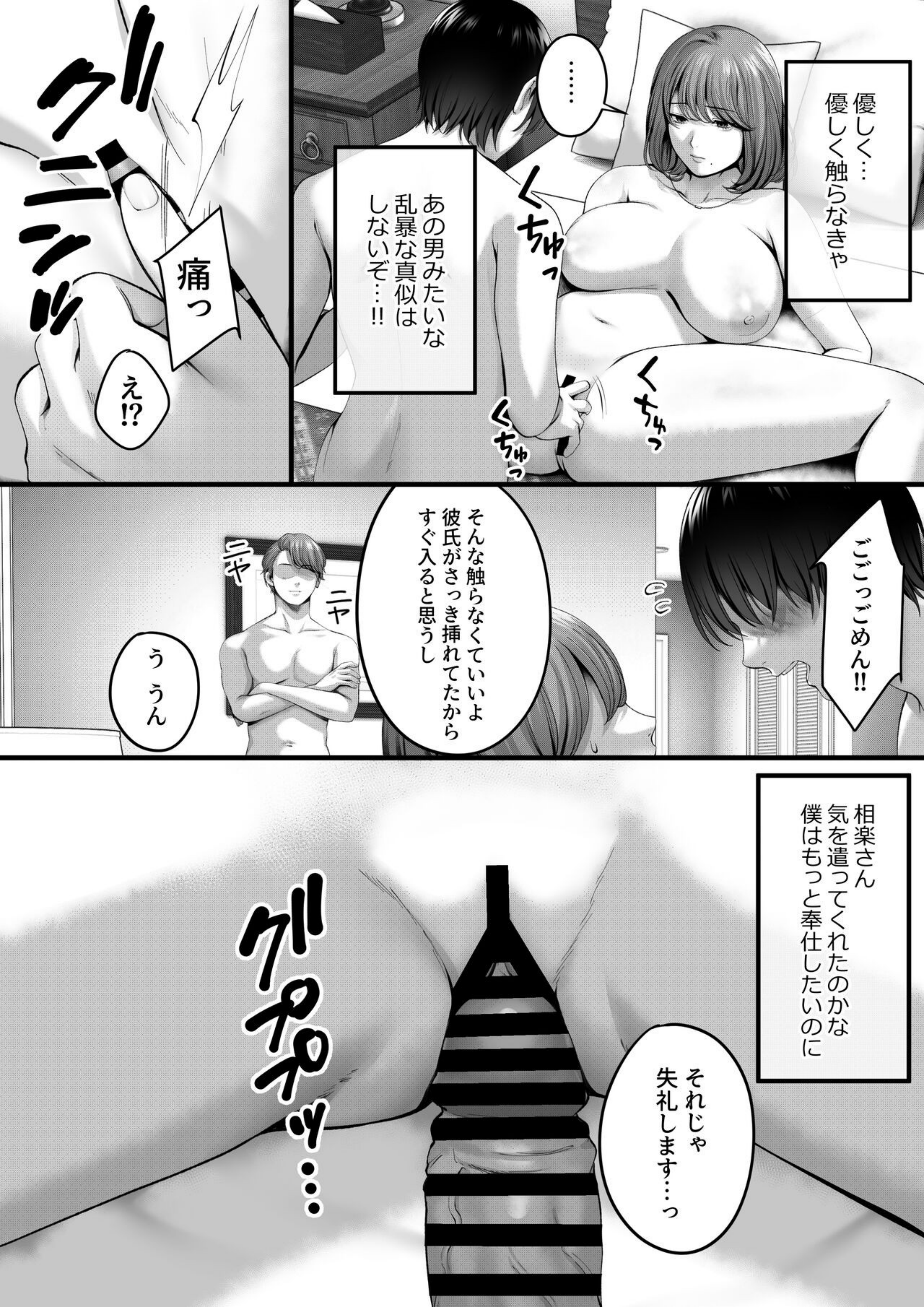
お゛っ
ビクッッ
ズズズッ
あ゛～ッ
ドチュッ
あ゛
ドチュッ
あっ
ズンッ
ん゛おっ
あ゛ッ
ビクッ
ビクッ
あ゛～ッ

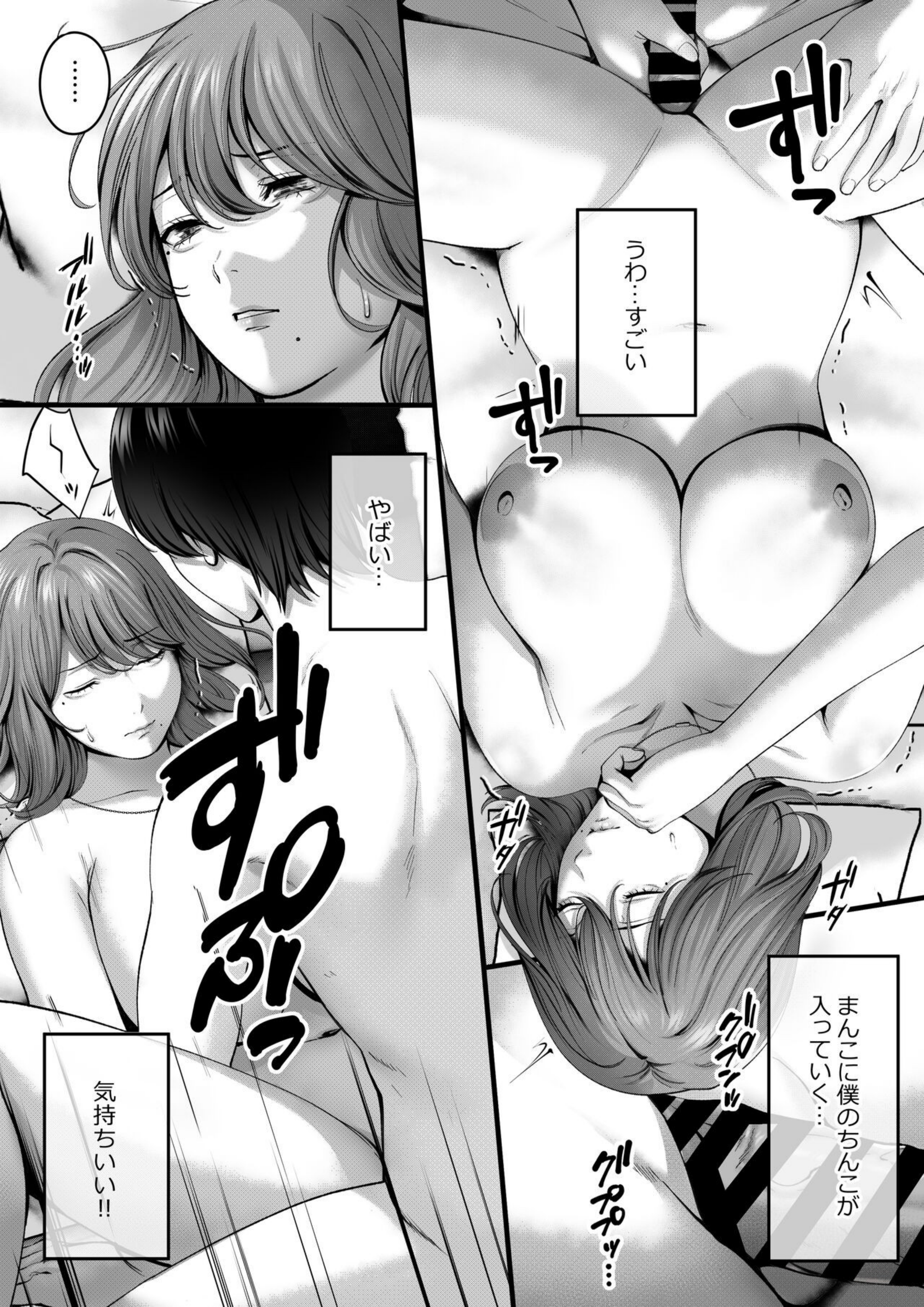
あっ
ドチュッ
あうっ
ひぃっ♡
ずりっ
きゅん♡
きゅんっ♡
ドチュッ
あ♡
どちゅっ
んっ
あっ
ドチュッ
あ゛
あ♡
あ゛
ビクンッ
んお゛ぉ゛ッ
ビクッ
きゅん♡
ビクンッ
きゅんっ♡
キュンッ♡
お゛♡

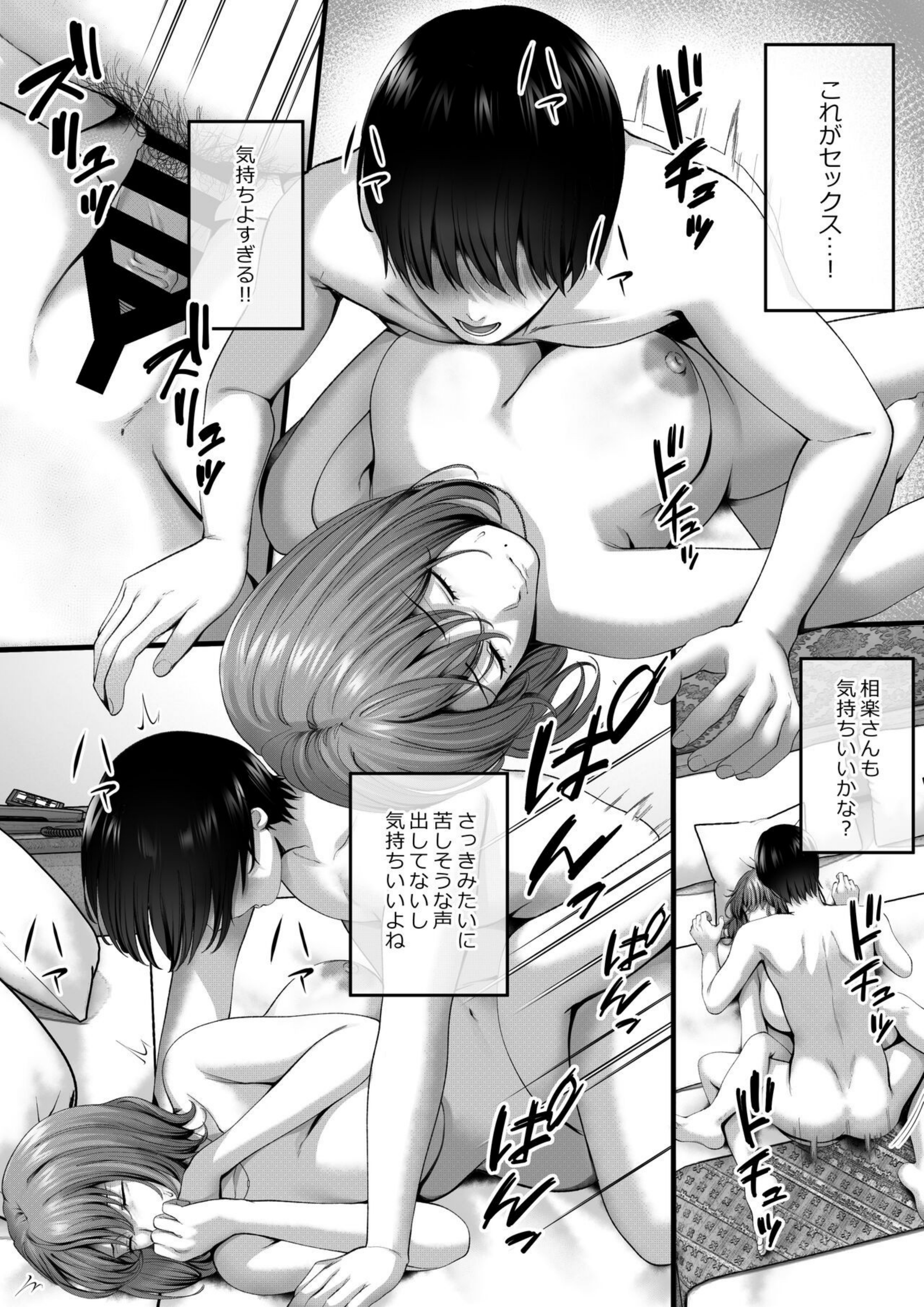

あ♥
ビクンッ
あっ♥
ビクンッッ
プシャアアッ
あー♥ーっ♥
ビクッ♥


あ…♥
ビクッ♥
はぁっ
はぁ
びくんっ♥
びくんっ♥
相楽さん
あんな痙攣して…
ひどい……
はぁっ
ビクッ
ビクンッ
はぁっ
んじゃ横谷クン
次どーぞ
俺の女のまんこ
貸してやるよ
ぽんっ
……ッ
これ言って
みたかったんだよな～
夢叶ったわ
あはは
バカ!!
…ホント
バカで最低な男だ
横谷くん…
こんなことに
付き合わせてごめんね
ううん…
僕が相楽さんを
助けてあげなきゃ…!

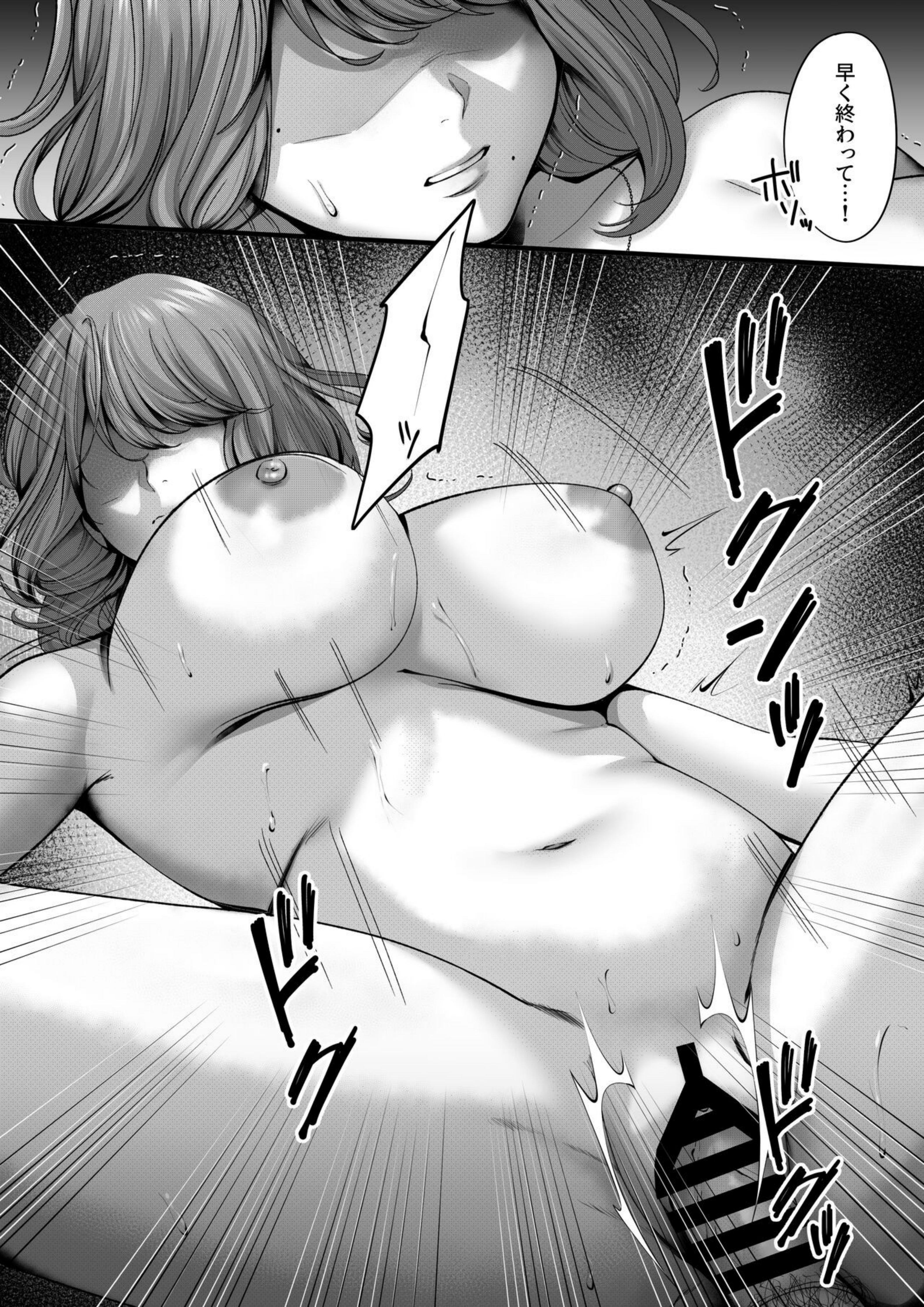

ハァ
ハァ
それじゃするね…！
待って！
ゴムつけてくれる？
え？
でもさっきはしてなかったよね…？
さっきとは違うのお願いつけて
あぁそっか
まだ彼氏とは別れてないもんな
僕が彼氏になったらナマでさせてくれるか
えっと
何からすればいいんだっけ
そうだキス…
ん〜っ
！
ごめんっ！
キスはなしで！
ぱっ
えっ⁉
ハァ
ハァ
そっか
キスも彼氏としかしないんだ
彼氏と別れて
僕と付き合ったら
いっぱいキスしようね
えっとじゃあ
ここ触るね
ぷちゅっ
うん…

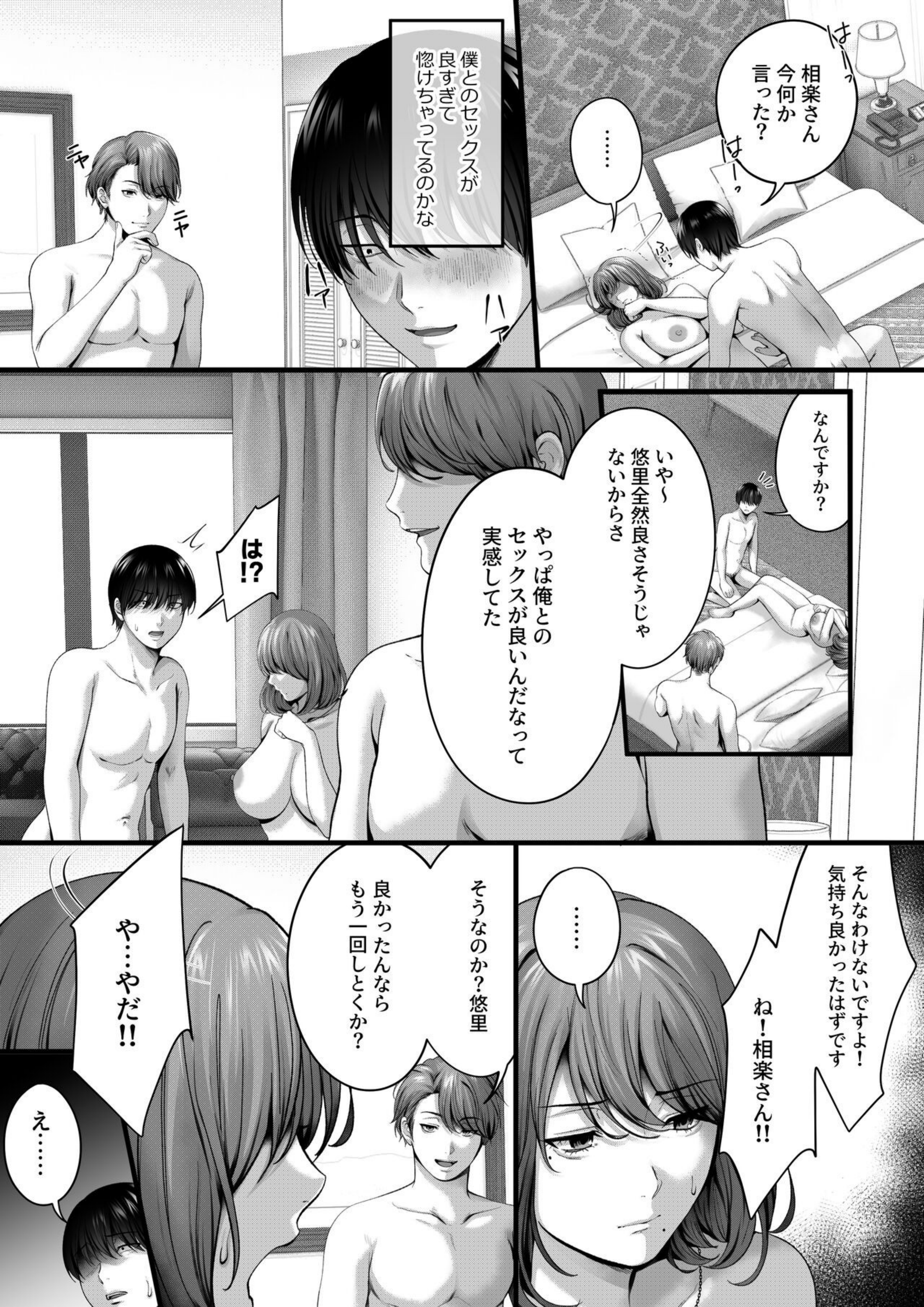

優しく…
優しく触らなきゃ
……
あの男みたいな乱暴な真似はしないぞ…!!
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
グニニッ
痛っ
え!?
ごごっごめん!!
そんな触らなくていいよ 彼氏がさっき挿れてたから すぐ入ると思うし
ニヤ
ニヤ
ううん
相楽さん 気を遣ってくれたのかな 僕はもっと奉仕したいのに
それじゃ 失礼します…っ
グプププッ…

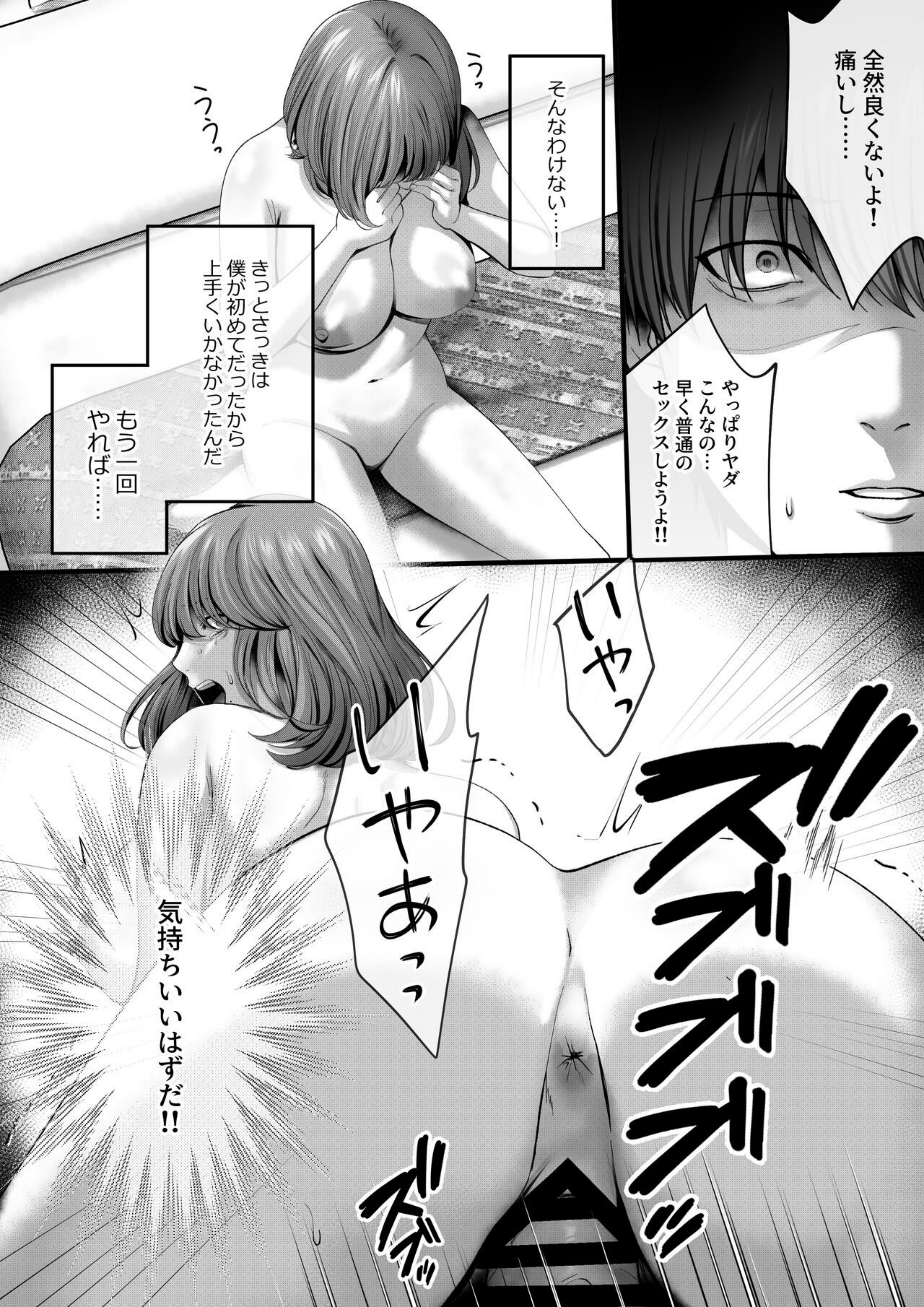

ずっ
うわ…すごい
ずっ
ガタ
ガタ
まんこに僕のちんこが入っていく…
グプンッ
グププッ…
……
ブルル…ッ
ッ
やばい…
ずぷぷんっ
気持ちいい!!

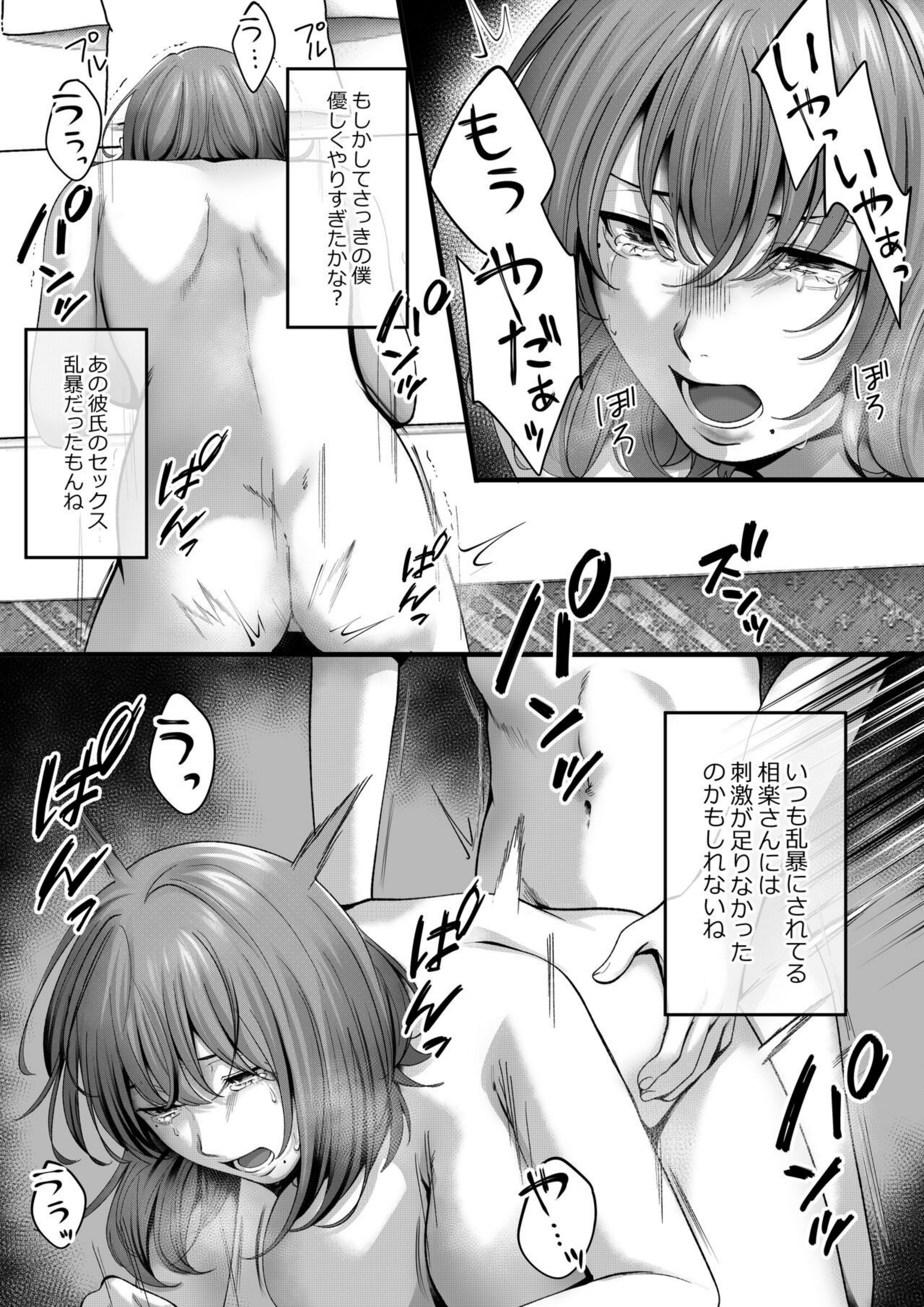

これがセックス…！
ドチュッ
ハァ
ハァ
ハァ
気持ちよすぎる!!
ズリュッ
ズリュッ
ドチュッ
相楽さんも
気持ちいいかな？
ドチュッ
ドチュッ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
さっきみたいに
苦しそうな声
出してないし
気持ちいいよね
ハァ
ハァ

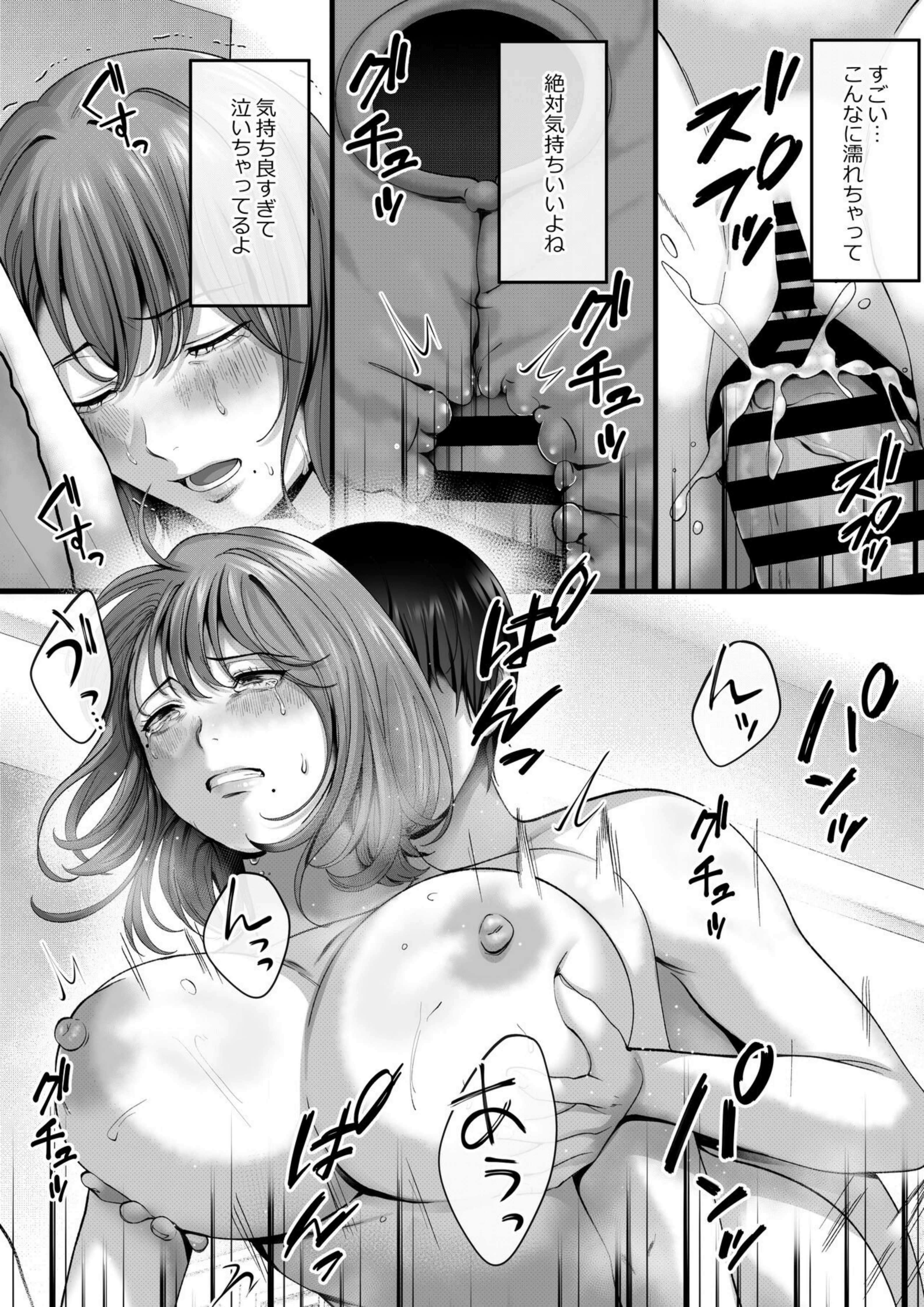
……
ヌルルル…ッ
ハァ
ズポッ
うっ出る！
ズポッ
ハァ
ハァ
出る出る！
パンッ
出すよ相楽さんっ!!
ぱんっ
ぱんっ
ズッ

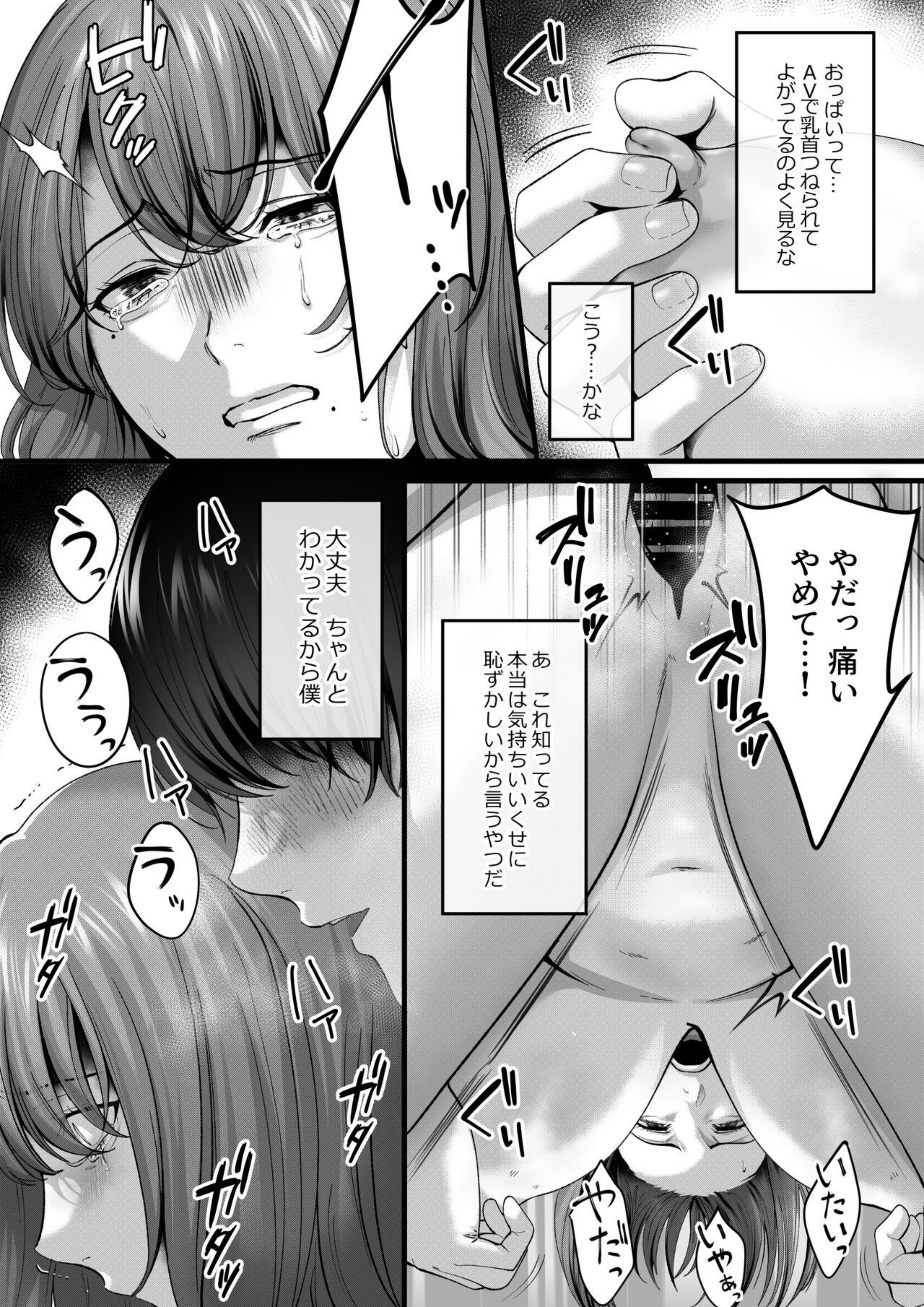

早く終わって…！
ボソッ
ッ
ドクンッ
ドク
ドクドクッ

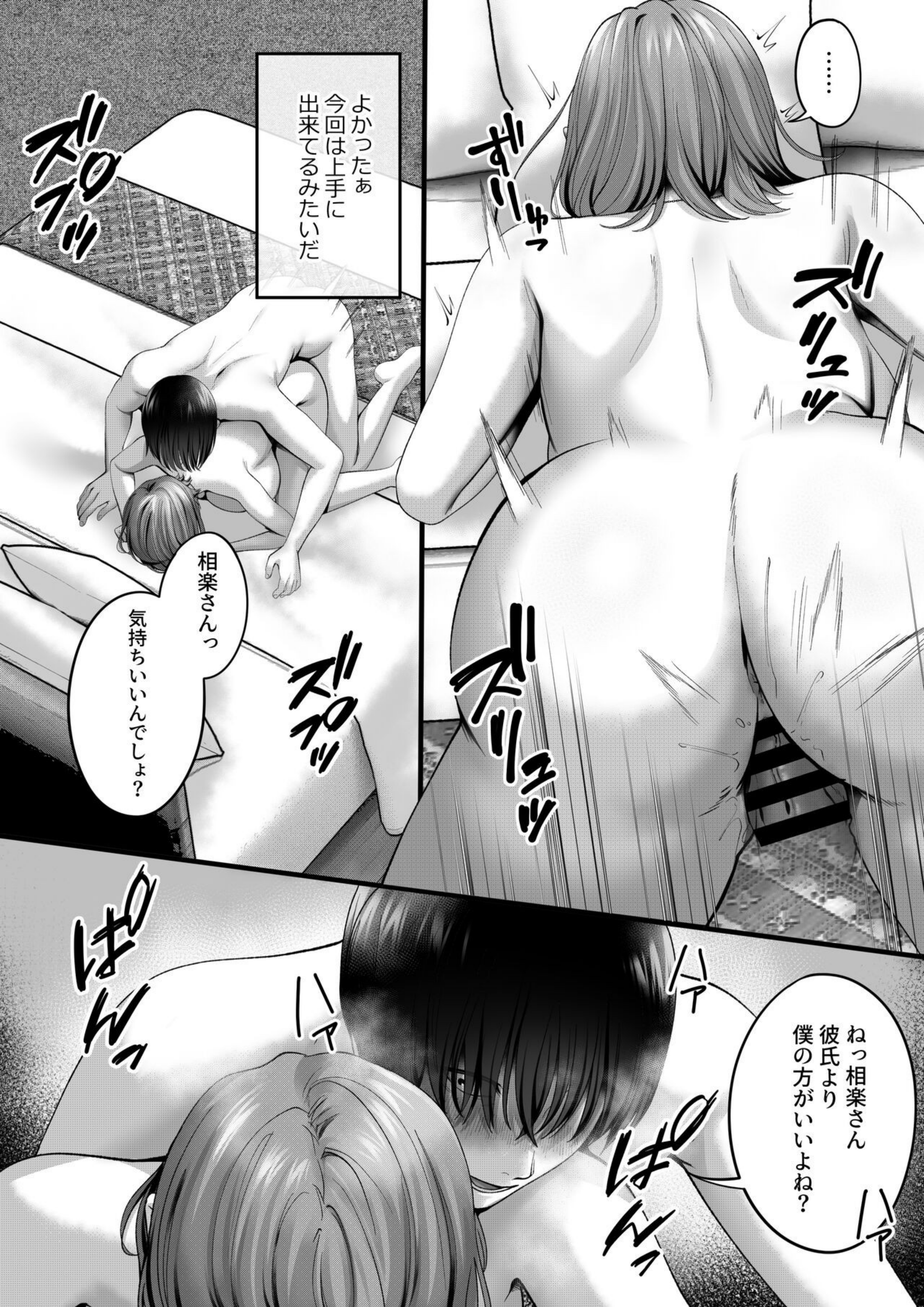

はーっ
相楽さん今何か言った?
はーっ
ふぃっ
……
僕とのセックスが良すぎて惚けちゃってるのかな
ハァ
ハァ
ニヤ
ニヤ
なんですか?
いや～悠里全然良さそうじゃないからさ
やっぱ俺とのセックスが良いんだなって実感してた
は!?
そんなわけないですよ!気持ち良かったはずです
ね!相楽さん!!
……
そうなのか?悠里
良かったんならもう一回しとくか?
や…やだ!!
え……


全然良くないよ！
痛いし……
やっぱりヤダ
こんなの…
早く普通の
セックスしようよ!!
そんなわけない…！
うぅっ
うぅぅっ
きっとさっきは
僕が初めてだったから
上手くいかなかったんだ
もう一回
やれば……
ズブブブブッ
いやっ
いやあっっ
ズブッ
気持ちいいはずだ!!

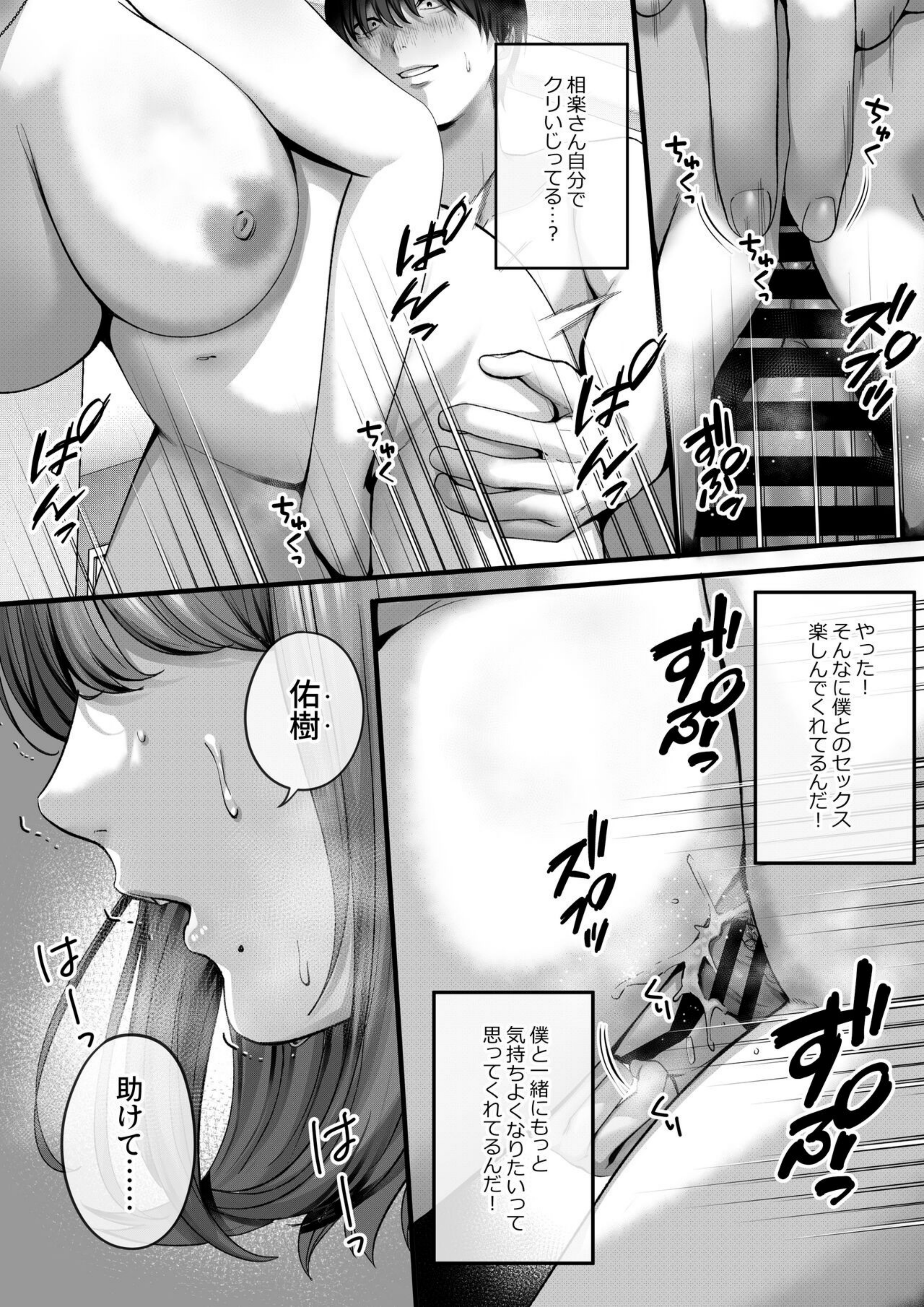

いやっいやぁっ
もうやだぁッ
ぼろ
ぼろ
プル
プル
う…
うぅっ
もしかしてさっきの僕
優しくやりすぎたかな？
パンッ
パンッ
あの彼氏のセックス
乱暴だったもんね
ぱんっ
ぱんっ
ズンッ
パンッ
いつも乱暴にされてる
相楽さんには
刺激が足りなかった
のかもしれないね
パンッ
ぱんっ
や…ッ
うっ
ぱんっ
うぅッ

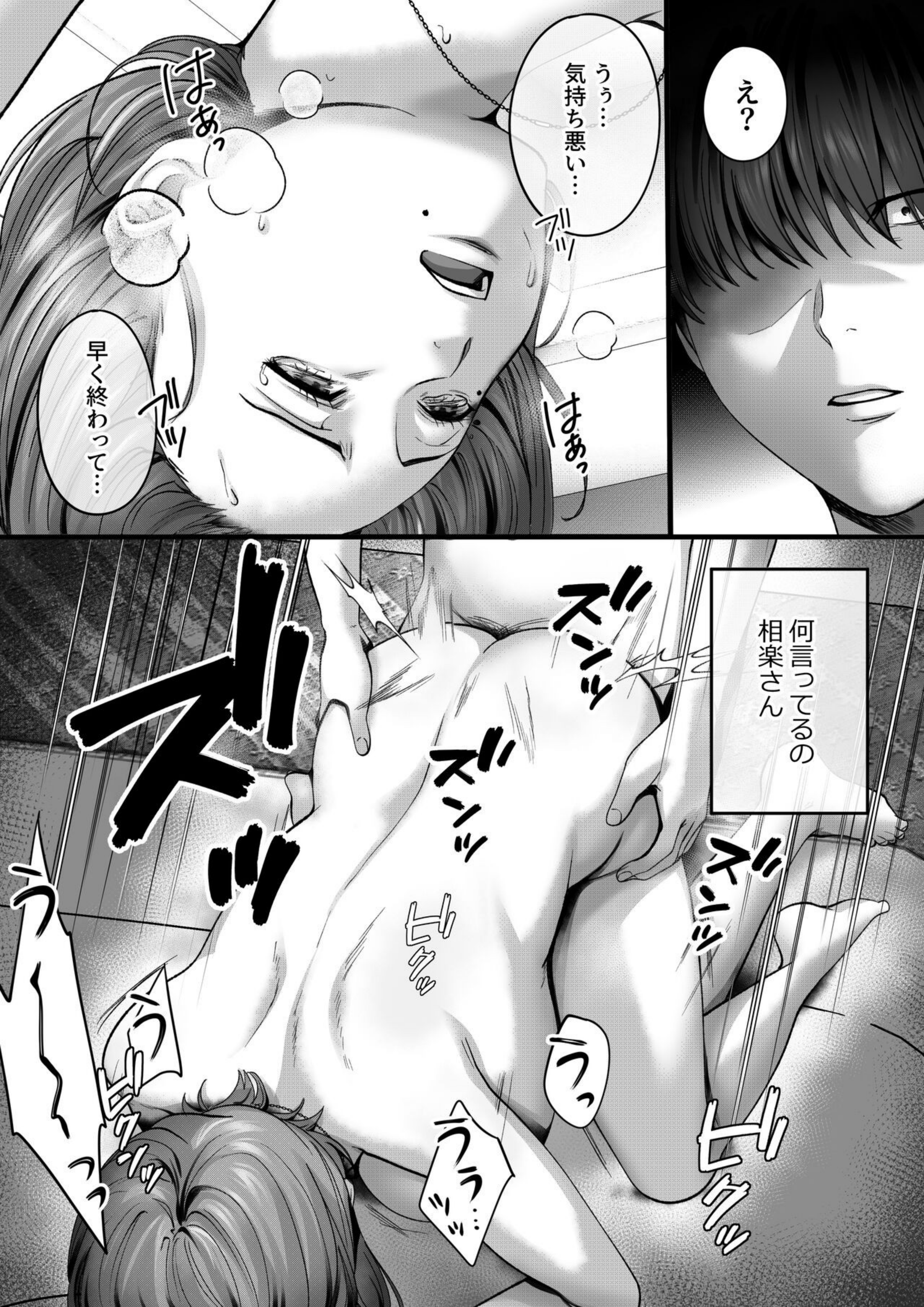

すごい…
こんなに濡れちゃって
ズププッ
ズプッ
絶対気持ちいいよね
グチュッ
グチュッ
気持ち良すぎて
泣いちゃってるよ
ぐすっ
ぐすっ
パンッ
んッ
ぱんっ
グチュッ
づっ…
んっ
あうっ
ぱんっ
パンッ
グチュッ

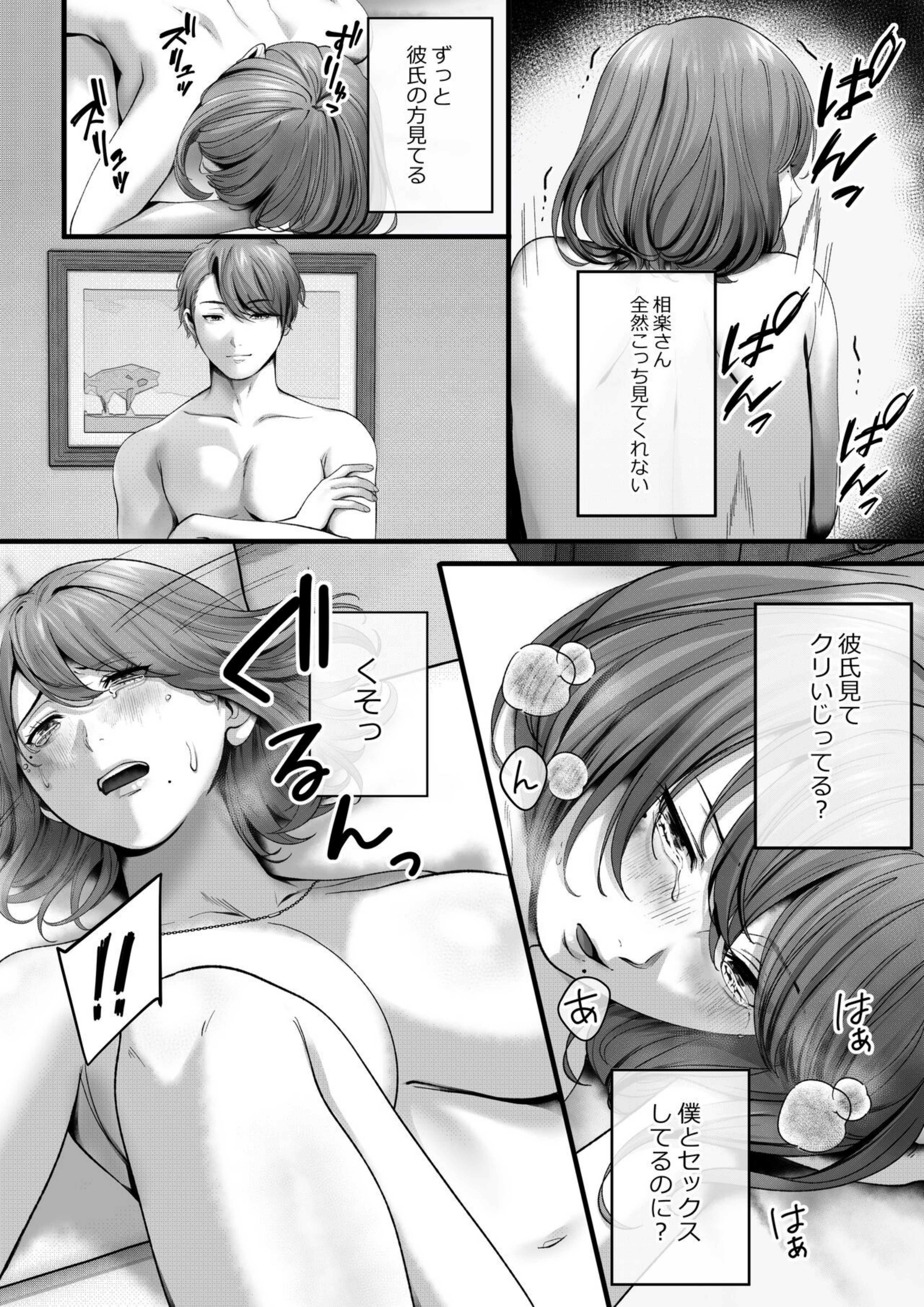

おっぱいって…
AVで乳首つねられて
よがってるのよく見るな
ぐり
こう?…かな
ぐり
ッ……
ビクッ
やだっ痛い
やめて…!
ズリュッ
ズリュッ
あ これ知ってる
本当は気持ちいいくせに
恥ずかしいから言うやつだ
ぐり
ぐり
いたいっ
やだっ
いやあっ
大丈夫 ちゃんと
わかってるから僕
ハァ
ハァ
ハァ
うっ
うぅっ
うッ
ガタ
ガタ
ガタッ


……
ずりゅっ
ズリュッ
ズリュッ
よかったぁ
今回は上手に
出来てるみたいだ
ズプブッ
相楽さんっ
気持ちいいんでしょ？
ズププッ
ねっ相楽さん
彼氏より
僕の方がいいよね？
ハァ
ぱんっ
ハァ
ハァ
ぱんっ
ハァ

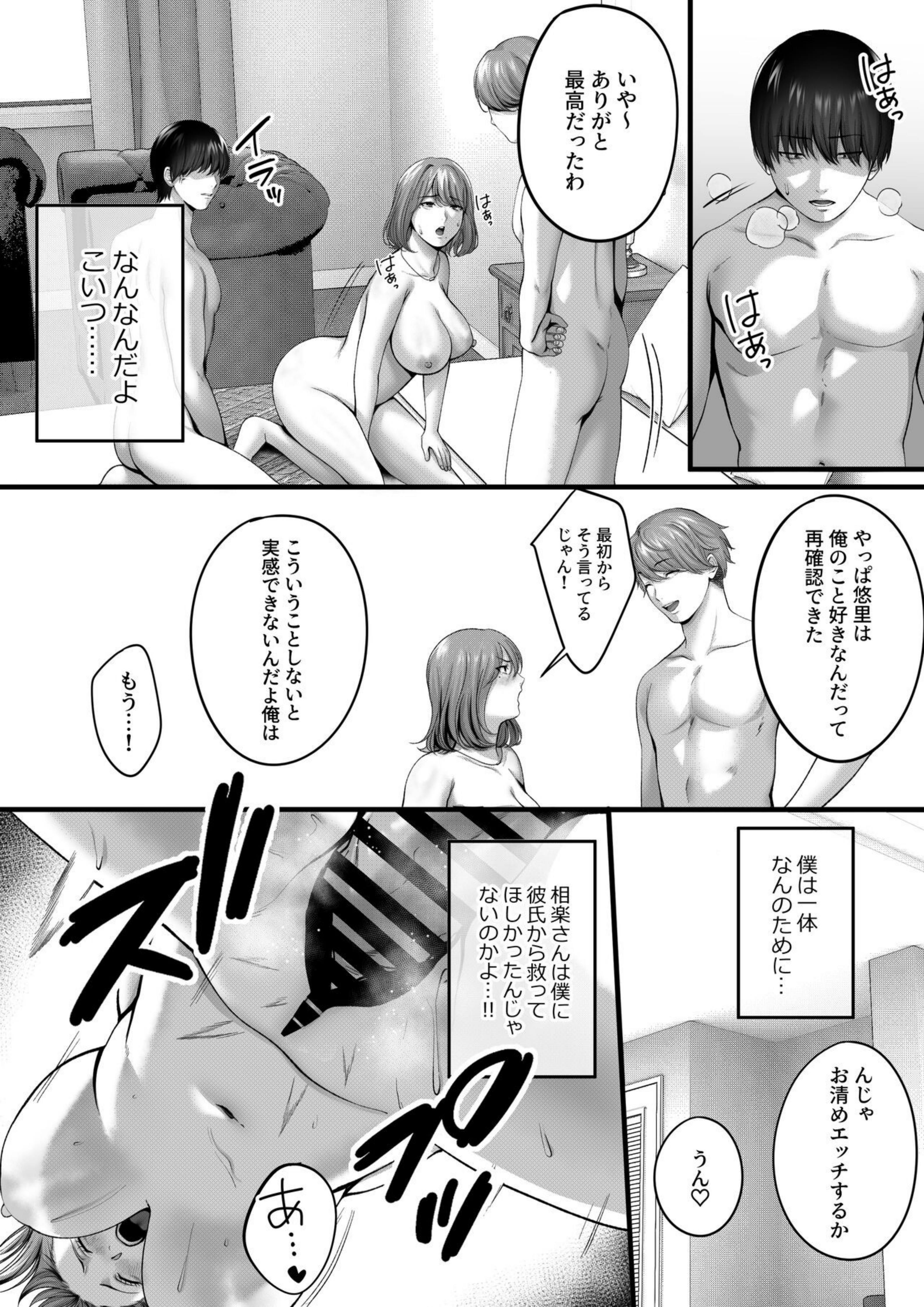
ギッ
はぁっ
はぁ
……
っ
ズリュッ
ズリュッ
はっ
っ
くちゅ
ぴくっ
くちゅっ
くちゅ
んっ
はっ
うう…
あ

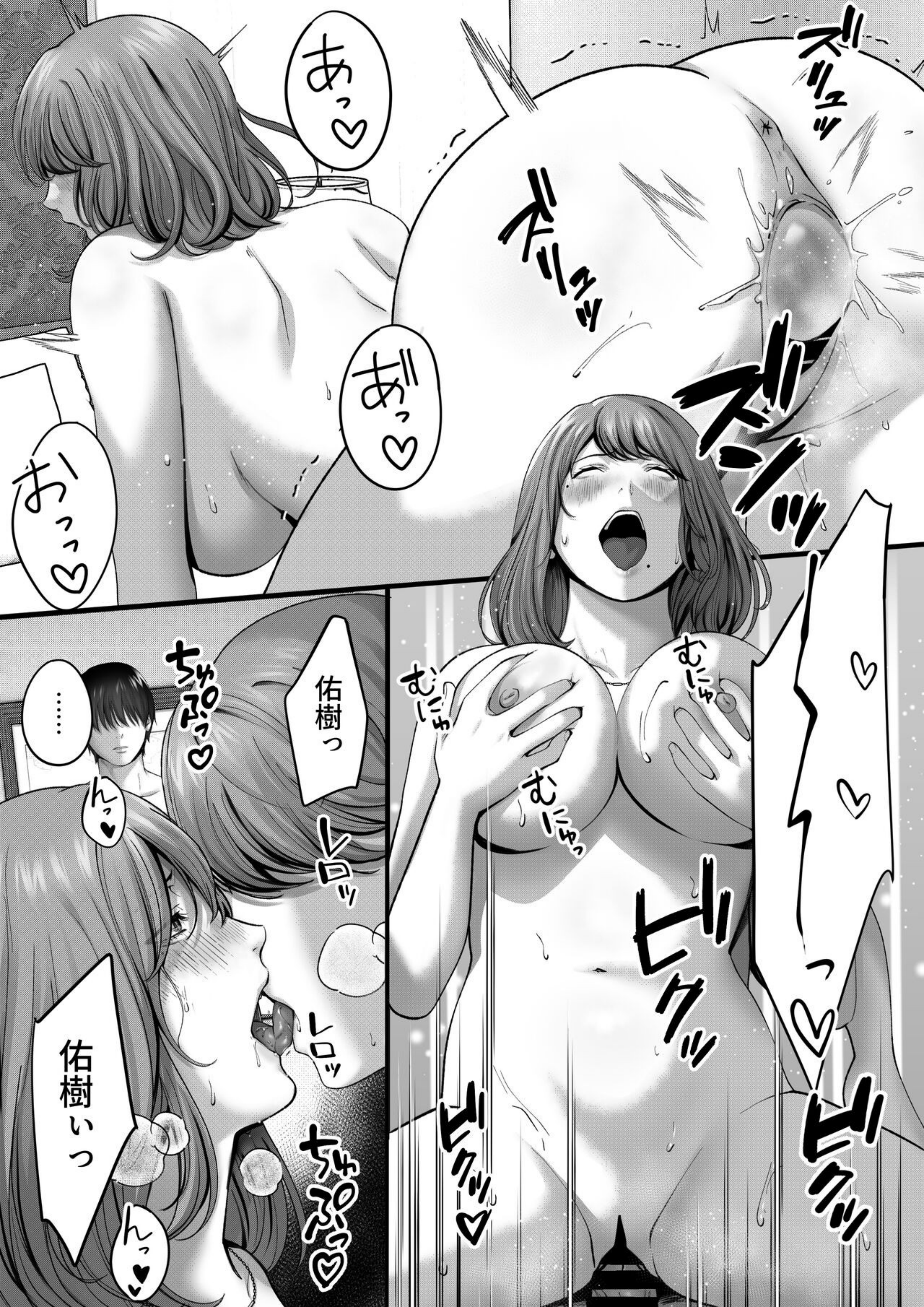

ちゅく
ちゅくっ
ちゅくっ
ズブブッ
ずぷぷっ
相楽さん自分でクリいじってる…？
ぱんっ
ぱんっ
ちゅく
ちゅくっ
ぱんっ
やった！
そんなに僕とのセックス
楽しんでくれてるんだ！
ずぷぷっ
ズブブッ
ずぷぷっ
くり
くり
僕と一緒にもっと
気持ちよくなりたいって
思ってくれてるんだ！
佑樹…
はーっ
はーっ
助けて……

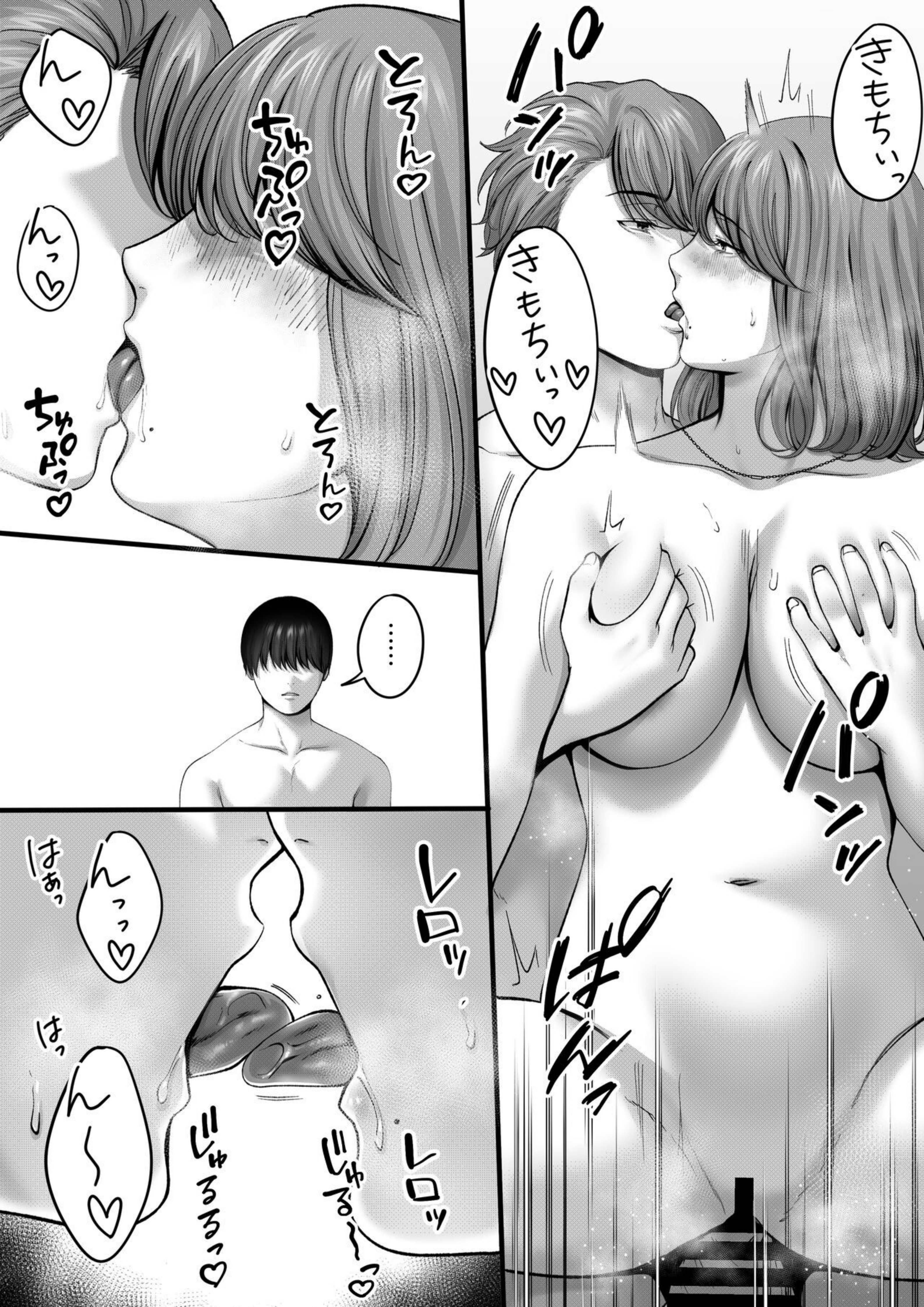

え？
うぅ…
気持ち悪い…
はぁっ
ズッ
はぁっ
早く終わって…
ズッ
何言ってるの
相楽さん
ズンッ
ズッ
ズンッ
ズンッ
ビクッ
うっ
ビクッ
ううっ
うぅ…ッ
ビクッ
う～～～っっ


ぱんっ
相楽さん
全然こっち見てくれない
ぱんっ
ぱんっ
ずりゅっ
ズリュッ
ズリュッ
ずっと
彼氏の方見てる
彼氏見て
クリいじってる？
ん
あ
はぁ
はぁ
僕とセックス
してるのに？
ぐるんっ
くそっ
!!

くそ…っ!!
くそぉっ……!!
ドクンッッ
うっ
う〜っ
ドクッドクッ
ビクッ
うぅ〜〜っ


はぁっ
はあっ
いや～ありがと最高だったわ
はぁっ
はぁっ
イラッ
なんなんだよこいつ……
やっぱ悠里は俺のこと好きなんだって再確認できた
最初からそう言ってるじゃん！
こういうことしないと実感できないんだよ俺は
もう…！
僕は一体なんのために…
んじゃお清めエッチするか
うん♡
相楽さんは僕に彼氏から救ってほしかったんじゃないのかよ…!!
ズププッ
あ…♥


ズリュッ
ズリュッ
ズンッッ
あっ♡
あ゛っ♡
おっっっ♡
♡ ♡ ーっ♡
むにゅ
むにゅ
むにゅっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ♡
佑樹っ
ちゅぷっ♡
……
んっ♥
レロッ
レロッ
佑樹いっ
ちゅぷっ♡
んっ♥

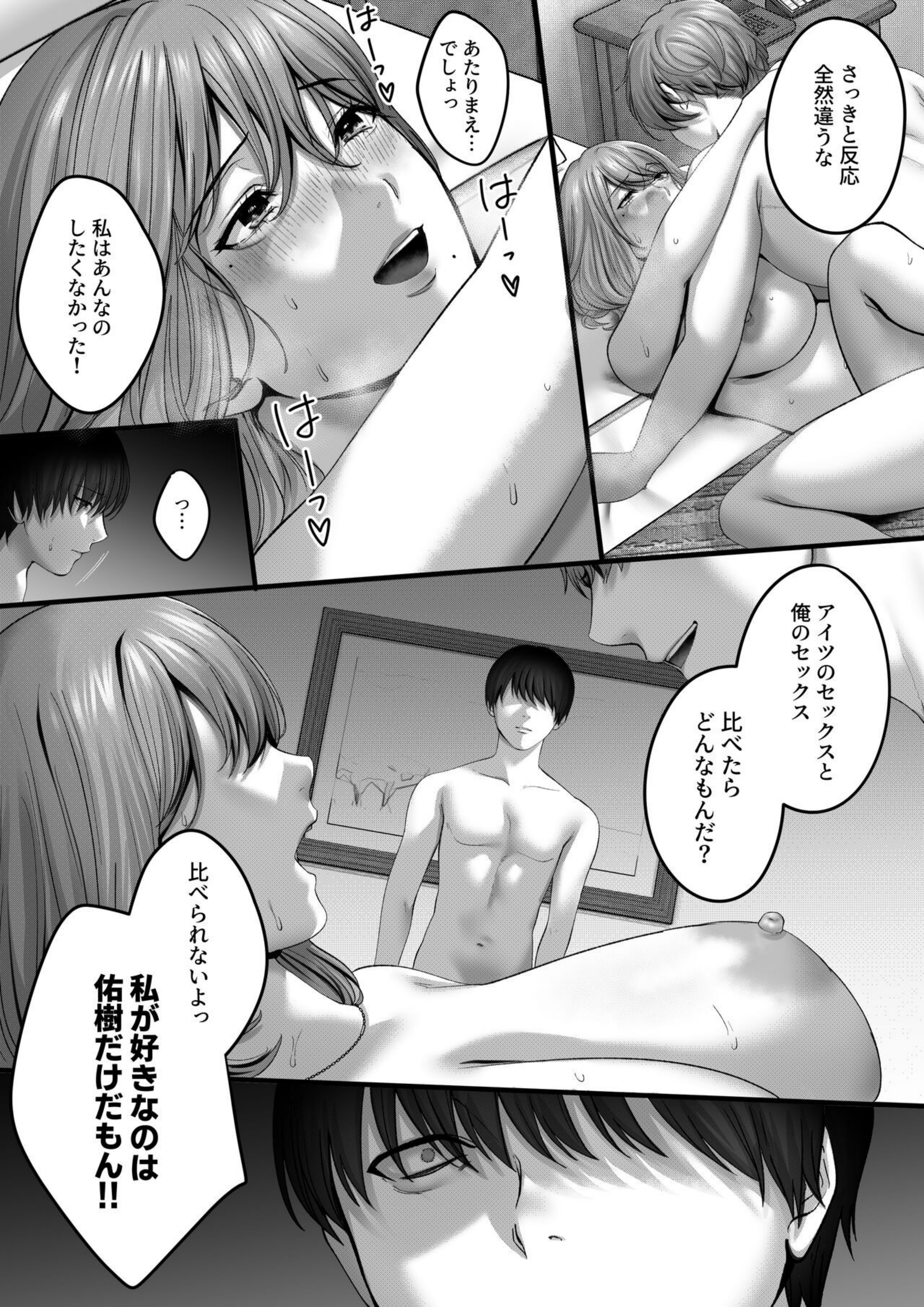

きもちいっ
パンッ
きもちいっ♡♡
パンッ
ぱんっ
とろん♡
ちゅぷっ♡
ん♡
んっ♡
とろん♡
ちゅぷっ♡
……
レロッ
レロッ
じゅる～っ♡
じゅるるっ♡
んっっ♡
はぁっ
はっ
ん～♡

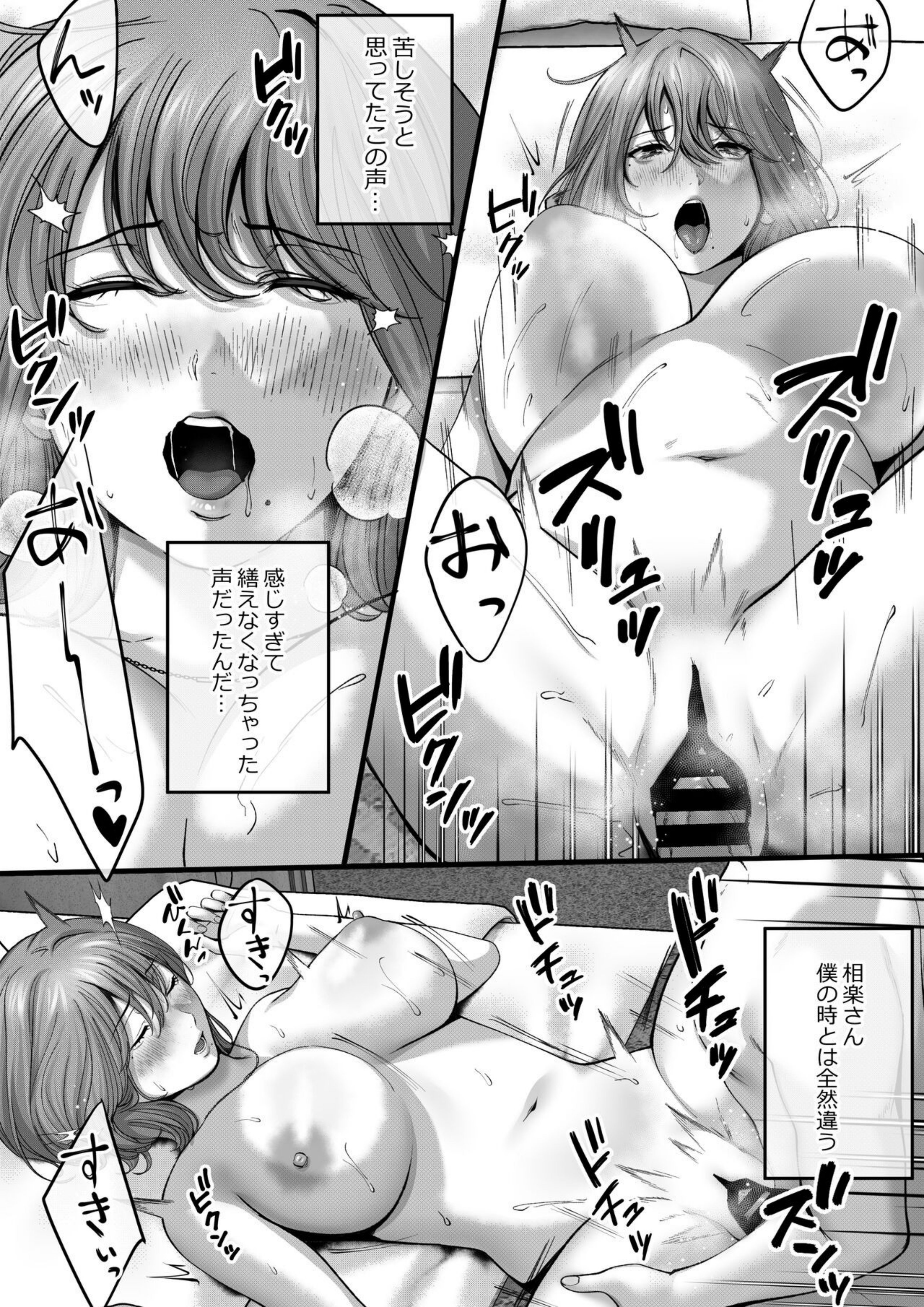
ずぷぷぷっ
ずぷっ
っあ
あ〜〜っ♡
ぱんっ
ビクッ♡
ビクッ
パンッ
あっ♡
あんっ♡
あっ…
ぱんっ
パンッ
ぱんっ
ぱんっ

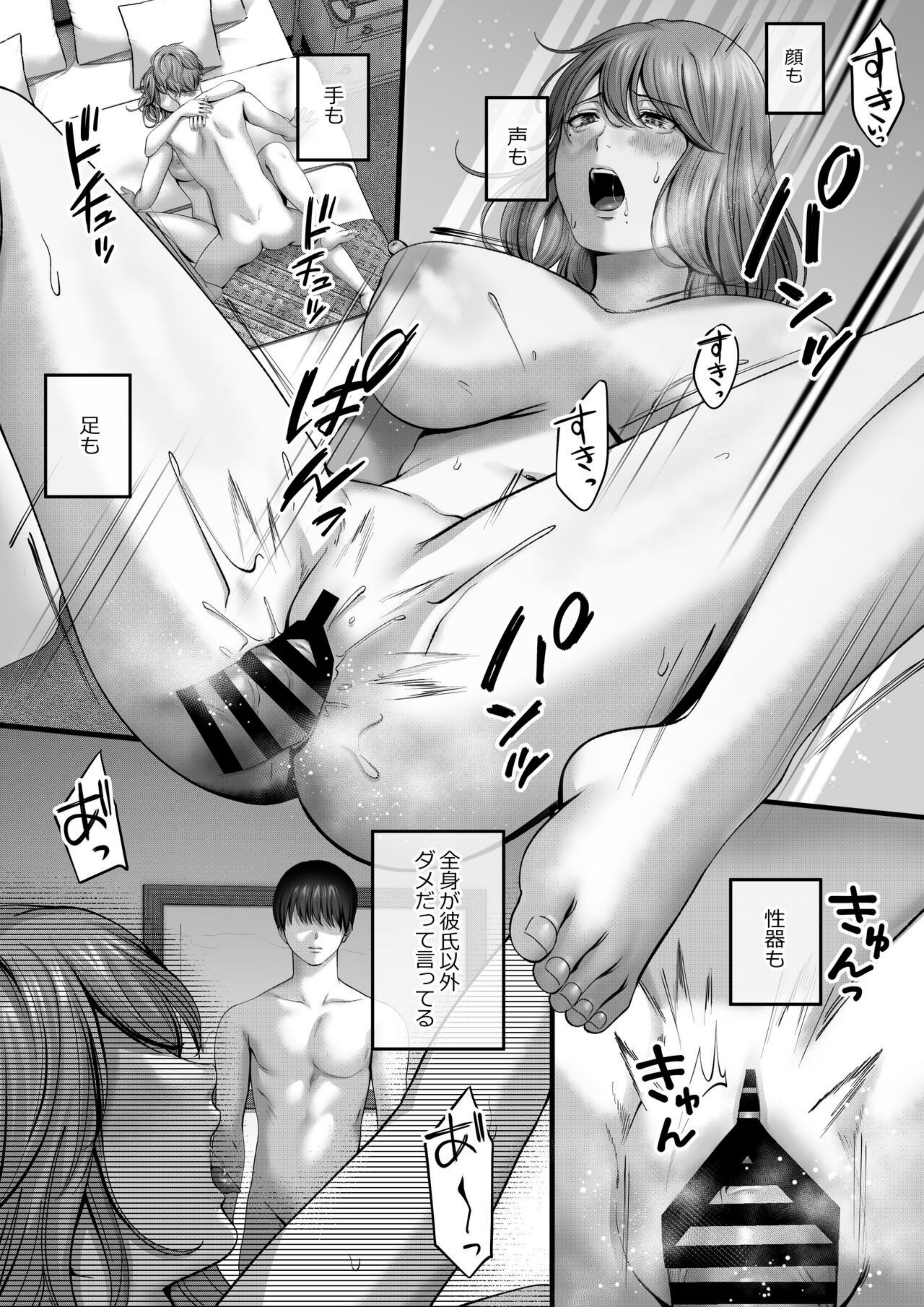
ぱちゅっ
んっ♥
ぱちゅっ
ヌブブブッ
ぱちゅっ
おっ♥
おっ♥
ドチュッ
っ♥
きゅううぅっ♥
きゅうぅっ♥

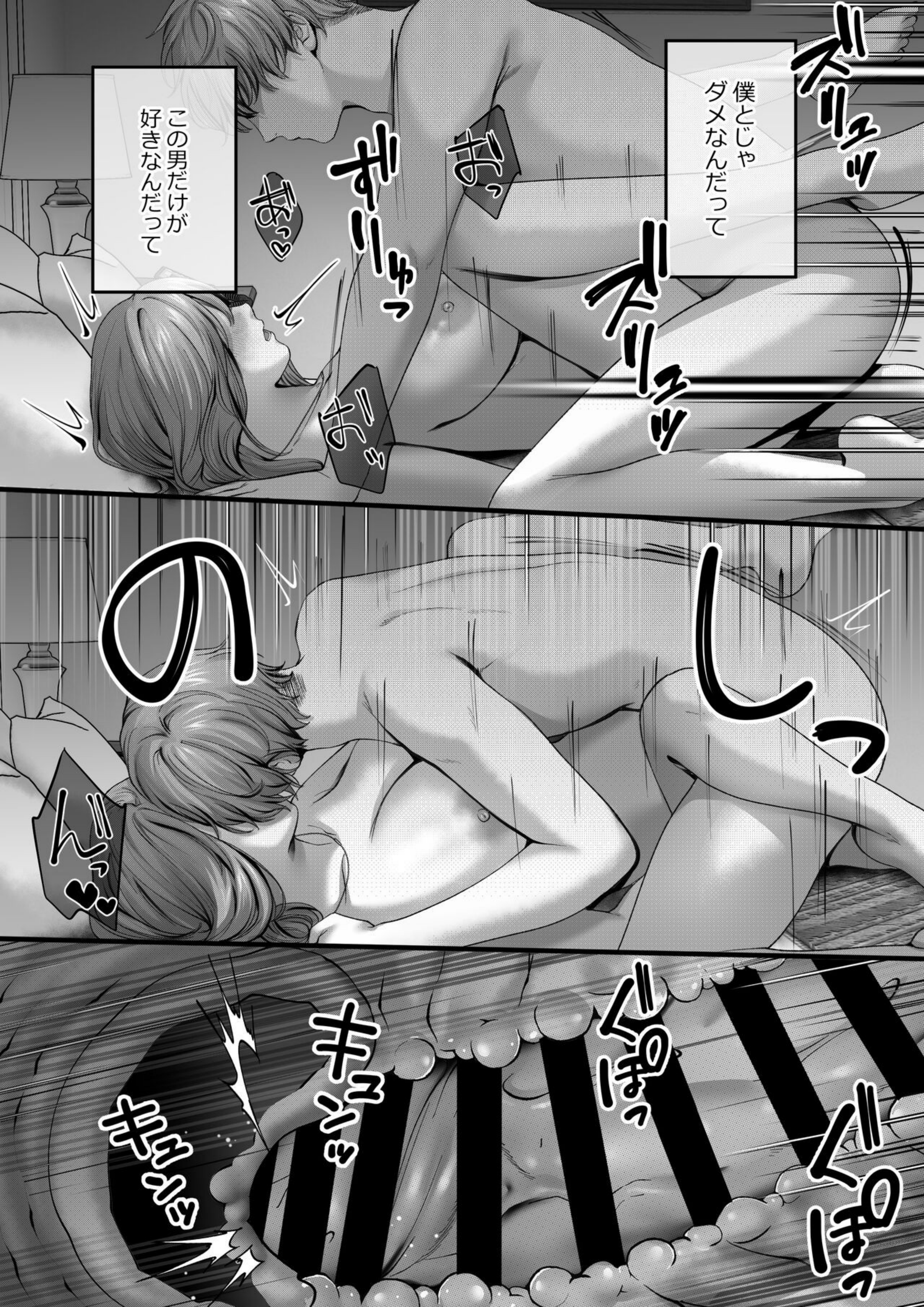
ハアッ
ハアッ
ずるるるっ
あっ
あ゛
ぐりんっ
うおっ
んっ
ぱちゅっ
おっ♥
〜♥♥っ♥
パーンッ
れゅっ
れゅっ
ぱんっ
むにゅ〜
ぱんっ

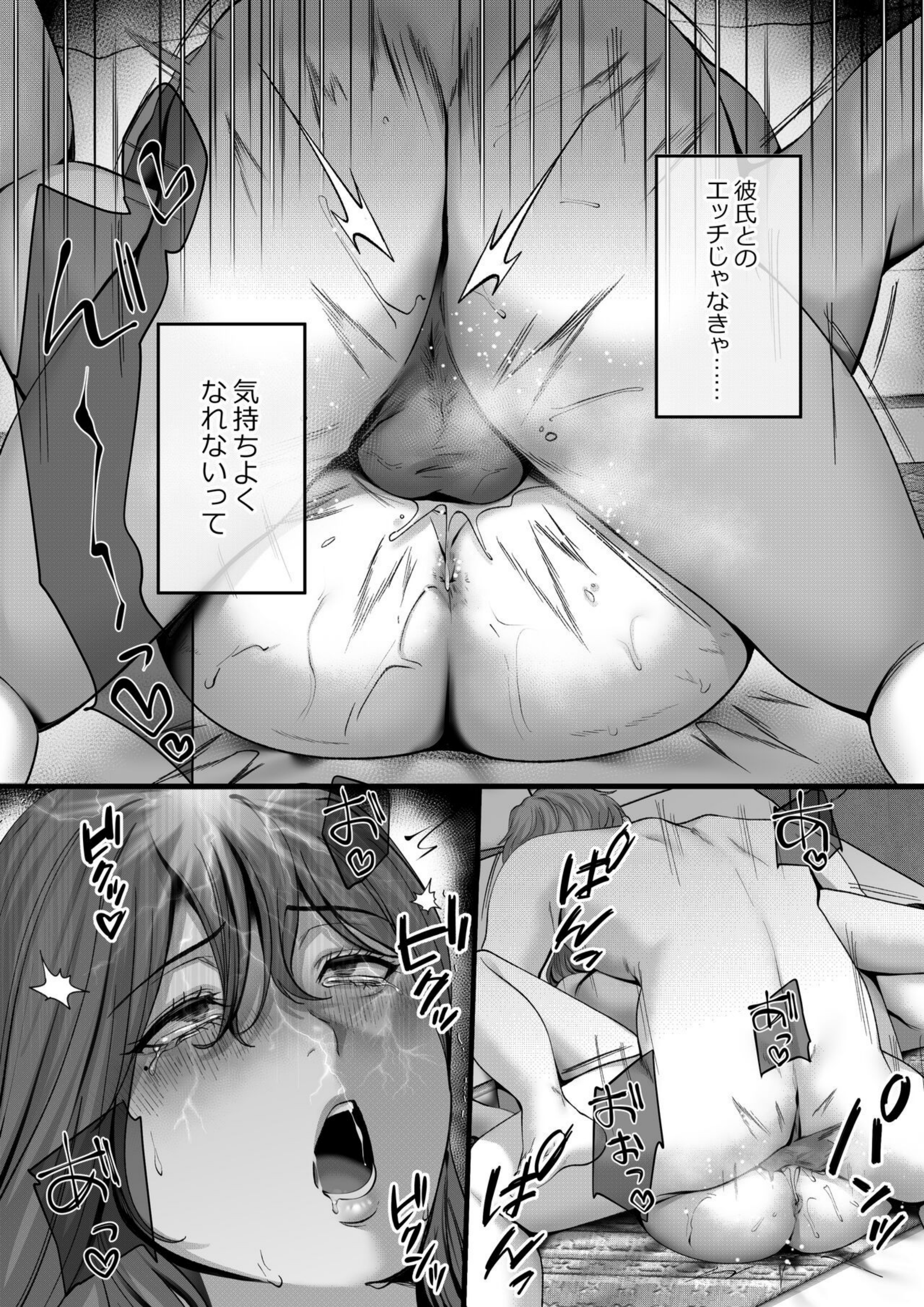
んっ
ギシッ
んっ
ギシッ
あ♡
ギシッ
あ…っ
あっ♡
ギシッ
たぷんっ
あ゛ッ
たぷんっ
あ♡
ギシッ
グプンッ
グポポッ
あ〜〜っっ♡
きもちいっ♡
ぐちゅっ
ぐちゅっ
きもちいよぉっ♡♡♡


さっきと反応
全然違うな
あたりまえ…
でしょっ
はーっ♡
はーっ♡
はーっ♡
私はあんなの
したくなかった！
っ…
アイツのセックスと
俺のセックス
比べたら
どんなもんだ？
比べられないよっ
私が好きなのは
佑樹だけだもん!!

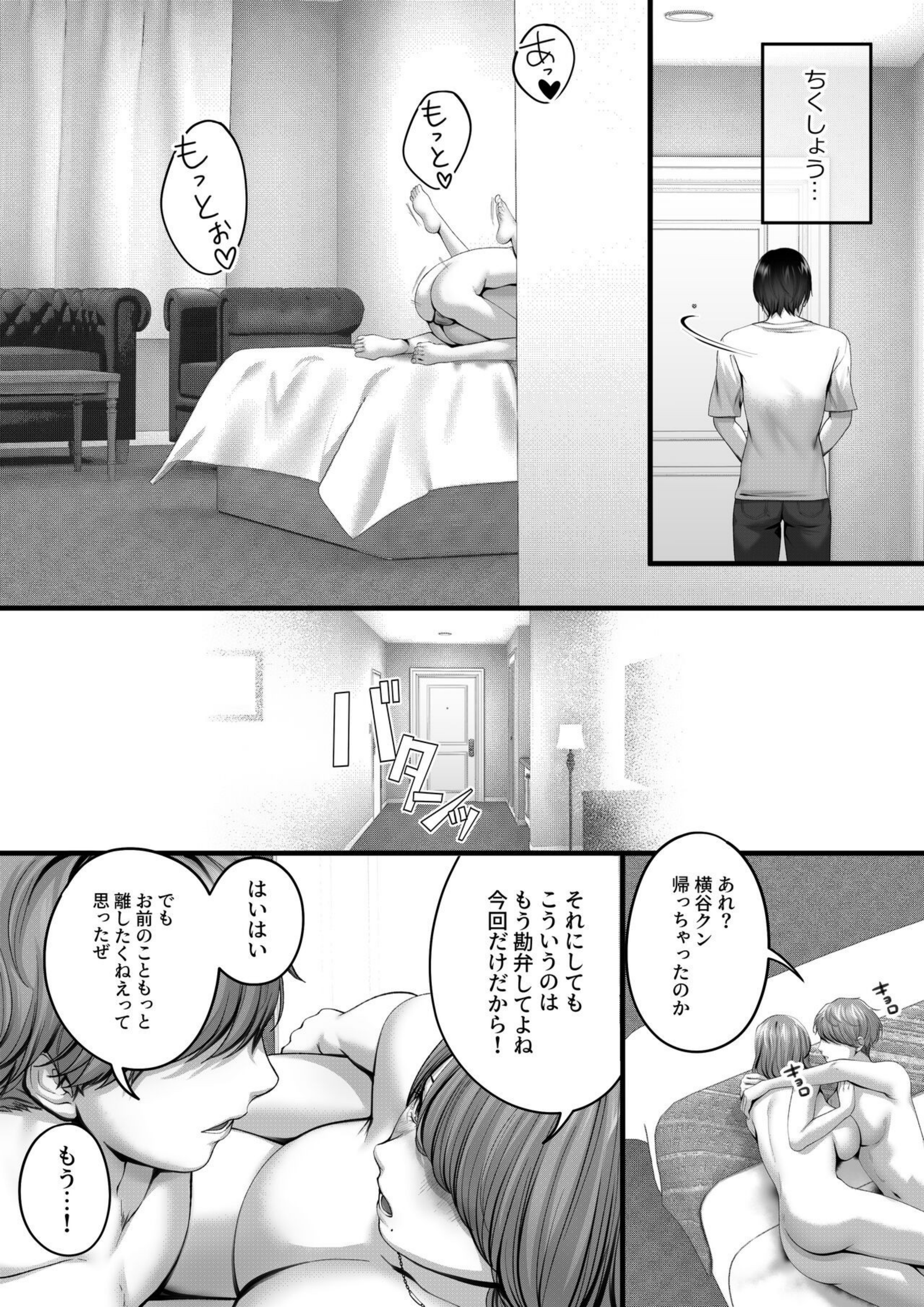

あ゛っ
ビクッ
ズリュッ
ズリュッ
おっ
ビクンッ
苦しそうと
思ってたこの声…
ビクッ
んッ
ビクンッ
あ゛ーーっ♥
感じすぎて
繕えなくなっちゃった
声だったんだ…
相楽さん
僕の時とは全然違う
ドチュッ
ドチュッ
ズンッ
ドチュッ
すきっ
びくんびくん
すきぃっ
ビクンッ

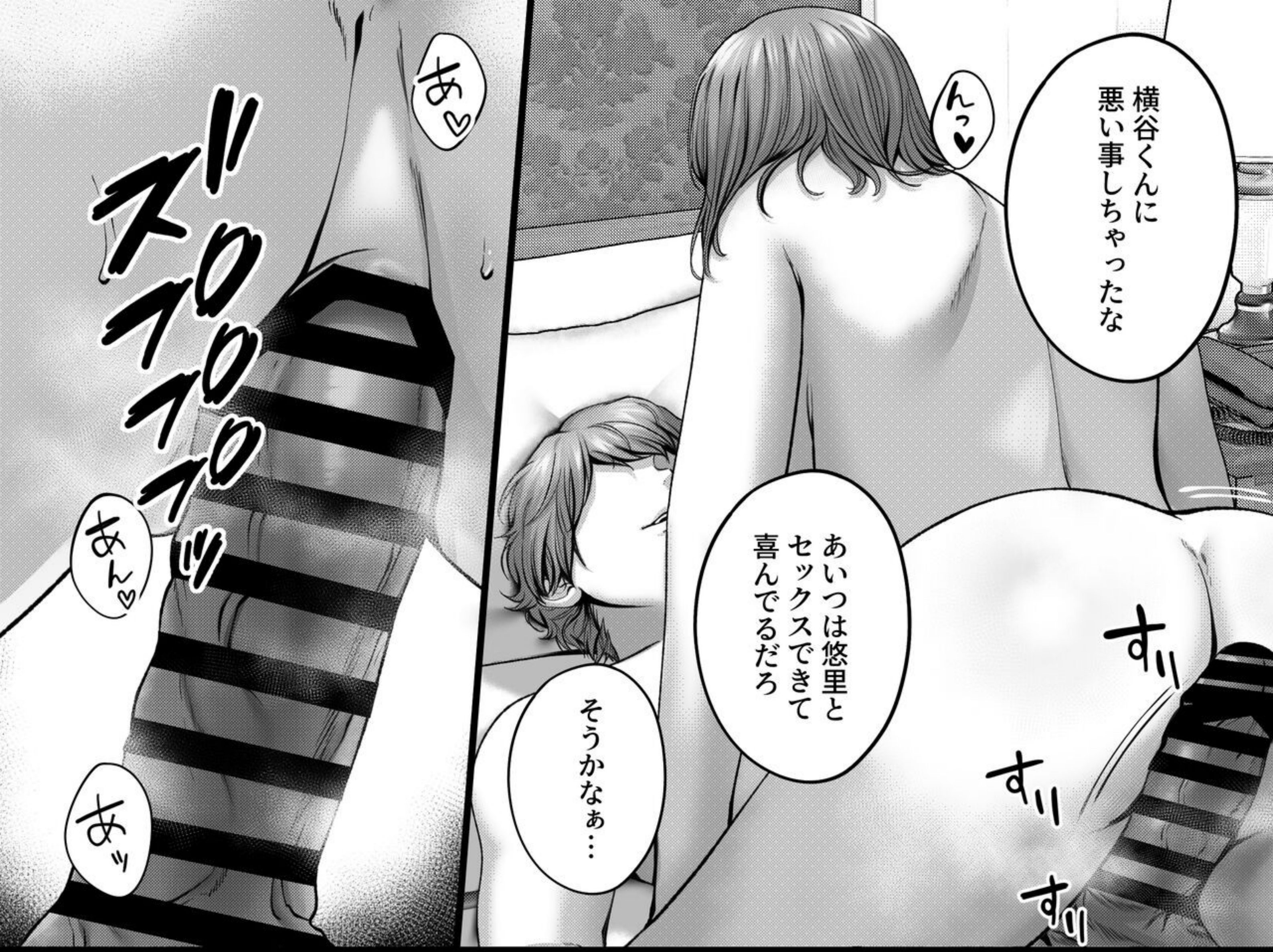

すきぃっ
顔も
パンッ
声も
手も
ドチュッ
ドチュッ
すきっ
すきっ
ぱんっ
足も
パンッ
あっ
性器も
きゅんっ
全身が彼氏以外ダメだって言ってる
きゅん
あ゛〜っ

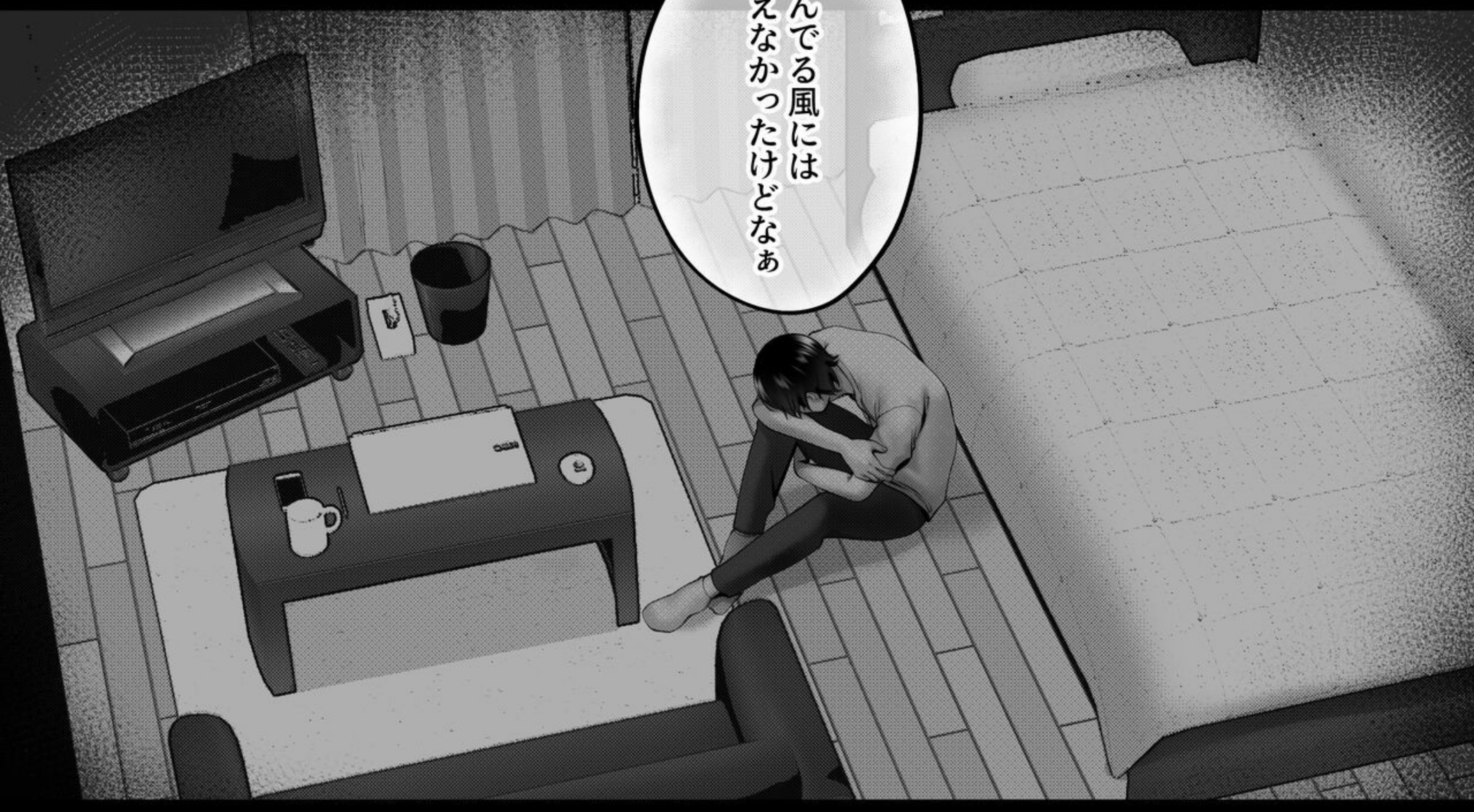

ズリュッ
僕とじゃダメなんだって
ズリュッ
おっ
ずりゅっ
あっ♡
この男だけが好きなんだって
お゛ッ
しっ
の
ん゛っ♥♥
ぐぽっ
ぐぽっ
キュンッ
キュンッ


彼氏との
エッチじゃなきゃ……
気持ちよく
なれないって
ん゛〜〜〜っ♡♡
あ♡
ぱんっ
あっ♡
おぉっ♡
ぱんっ
パンッ
お♡
ビクッ
ビクッ♡
ビクッ
あっ♡

んっ♡♡
ドクッ
お゛ッ
ビクッ
ビクッ♡
あ゛っ♡あっあ゛〜♡♡
びゅくっ!
ビクッ
ビュルルルルッ
どしんっ♡

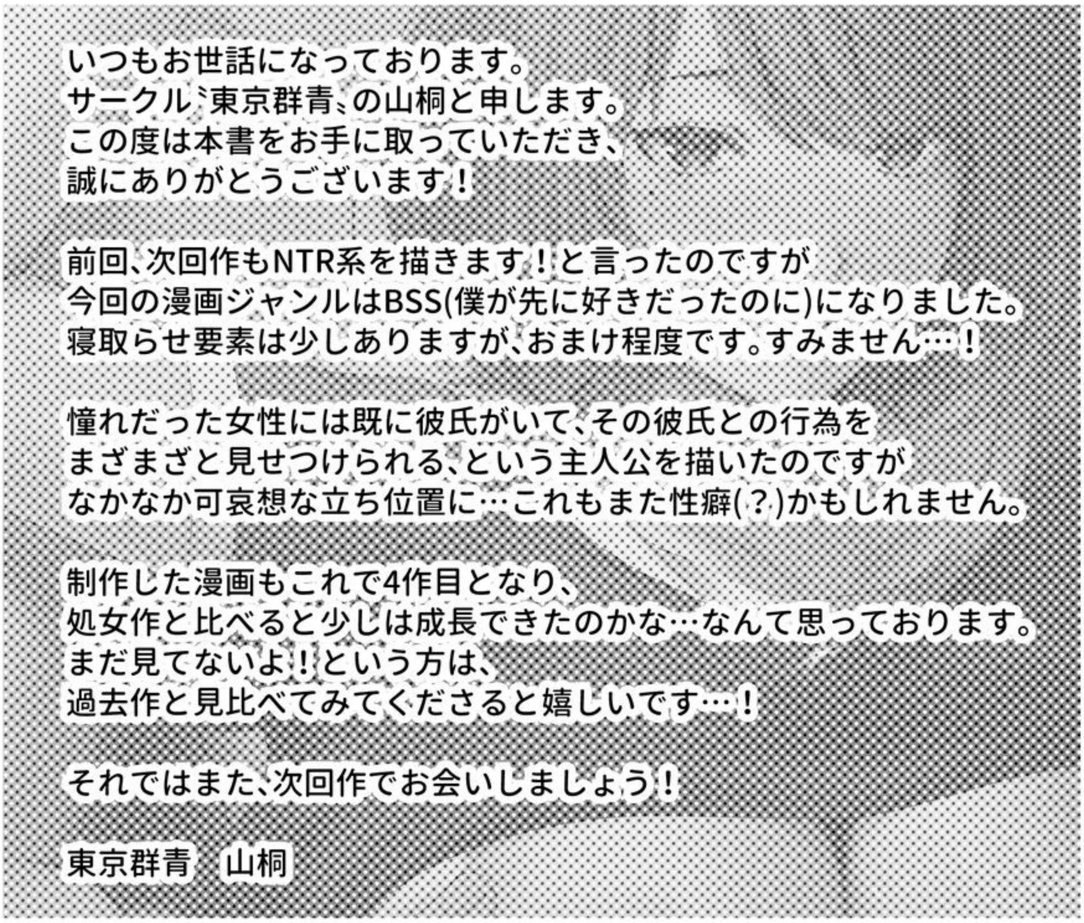

ちくしょう…
あっ♥
もっと♡
もっとぉ♡
バタンッ
あれ？
横谷クン
帰っちゃったのか
キョロ
キョロ
それにしても
こういうのは
もう勘弁してよね
今回だけだから！
はいはい
でも
お前のこともっと
離したくねえって
思ったぜ
もう…！


横谷くんに悪い事しちゃったな
んっ♥
あいつは悠里とセックスできて喜んでるだろ
そうかなぁ…
すり
すり
すり
あ♥
ズプププッ
あん♥
あッ


喜んでる風には見えなかったけどなぁ

憧れだった、相楽さん。●完

あとがき



いつもお世話になっております。
サークル〝東京群青〟の山桐と申します。
この度は本書をお手に取っていただき、
誠にありがとうございます！

前回、次回作もNTR系を描きます！と言ったのですが
今回の漫画ジャンルはBSS(僕が先に好きだったのに)になりました。
寝取らせ要素は少しありますが、おまけ程度です。すみません…！

憧れだった女性には既に彼氏がいて、その彼氏との行為を
まざまざと見せつけられる、という主人公を描いたのですが
なかなか可哀想な立ち位置に…これもまた性癖(？)かもしれません。

制作した漫画もこれで4作目となり、
処女作と比べると少しは成長できたのかな…なんて思っております。
まだ見てないよ！という方は、
過去作と見比べてみてくださると嬉しいです…！

それではまた、次回作でお会いしましょう！

東京群青　山桐

憧れだった、相楽さん。

発行日　：2023年12月14日
サークル名　：東京群青
発行者　：山桐
X(旧Twitter)：@tokyo_gunjo
連絡先　：tokyo.gunjo@gmail.com
ネーム協力　：びーえいち https://skima.jp/item/detail?item_id=39459

●この作品はフィクションです。実在の人物・作品・団体・出来事などとは関係ありません。
●本書を転載・転売することを禁止します。また、18歳未満の閲覧も禁止します。

●This is a work of fiction. Any resemblance to actual persons, living or dead, works, organizations, events, or locales is entirely coincidental.

●Do not repost. Do not resale. Adults only.

憧れだった、相楽さん。

東京群青